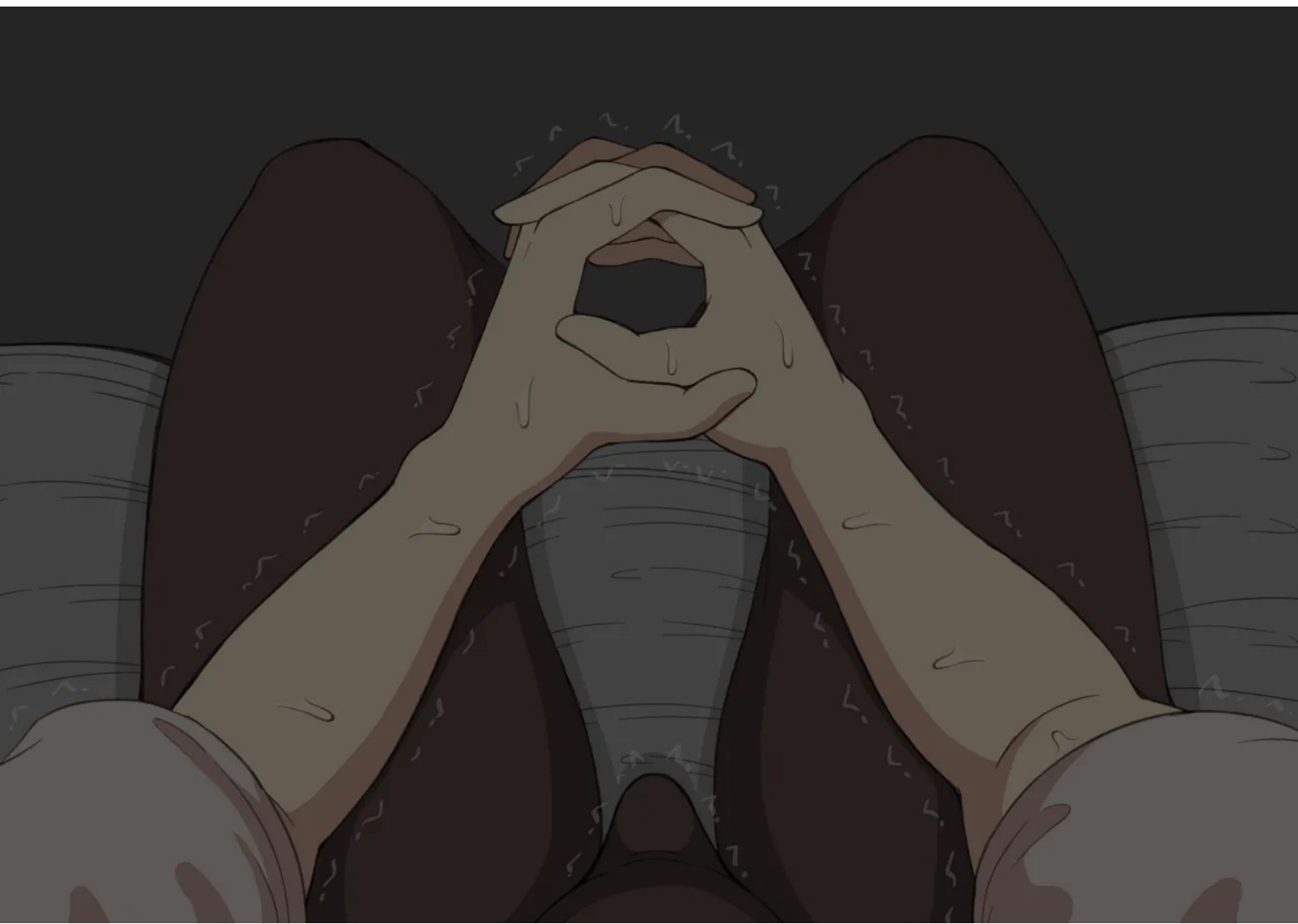




A person is lying down, viewed from above. Their hands are clasped together over their mouth and nose, with fingers spread. Their eyes are squeezed shut, and there are small, teardrop-shaped marks around the hands and on the face, suggesting distress or crying. The person is wearing a dark-colored top. The background is a dark, textured surface.

：陽菜子ちゃんが
欲求不満だとわかってから
しばらく経ち

もうすぐ新学期が
始まるという頃。

…僕はまだ

寝取らせの決断を
出来ずにいた。



欲求不満という

“寝取られる隙”のある
陽菜子ちゃんを

強いオスに寝取らせる…

パパン♡

パパン♡

フーッ

メチュ♡ メチュ♡

フーッ



：欲求不満を
解消してあげたい。

深まった寝取られ性癖により
仄暗い興奮も感じている。



しかしやはり

恐怖が心を
震わせていた。

……なかなか
決断は出来なかった。



でもそうして
迷っている間も

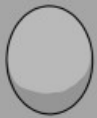
陽菜子ちゃんの欲求不満は
着実に募っていった……

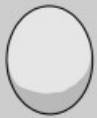


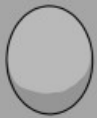


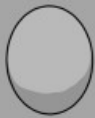


陽菜子ちゃん
いま時間あるかな









陽菜子の部屋

…扉越しに
聞こえてくる

陽菜子ちゃんの
微かな喘ぎ声。

あんっ♡

んん…っ♡

ドクンッ ドクンッ

その声に
今までの寝取らせの記憶が
フラッシュバックし

陽菜子の部屋

そこ……っ♡

んっ♡

あんっ♡

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

不安と焦燥で
心臓がバクバクと
高鳴り始める。

ドクンッ ドクンッ

陽菜子の部屋

…僕は意を決して

震える手で扉をノックした。

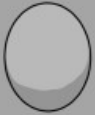
ドクンッ ドクンッ

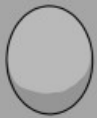
ア・ン・ク・ン



ひ、陽菜子ちゃん……？

……
!!



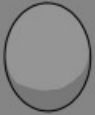




あつ

ごめん

ちよつと待ってて





陽菜子の部屋

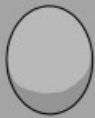
その言葉とともに
急ぎ足の足音が響き始め



そして絹切れの音が
聞こえてきて……



ガ
チャ



遅くなっちゃって...

...「めん



現れた陽菜子ちゃんの様子に
心臓が跳ねる。

頬は赤く、汗をかき、
服も乱れていて……



…僕は恐る恐る尋ねた。

ど、どうしたの…？



すると陽菜子ちゃんは……

……あゝ……

えっと……



…その

オナニーしてて…

たはは…

ツ
…
!!



まだ昼間だけど…

ちよつと
我慢できなくて…

恥ずかしい…

…



…とりあえず

オナニーであつたことに
ホッと胸を撫でおろした。

しかし、その一方で…



……今までずっと
陽菜子ちゃんと一緒にいたけど

「うーうー」とは初めてだった。



もちろん陽菜子ちゃんも
オナニーしてることは
知ってたけど

それでも昼間から
我慢できなかったなんてこと

今まで一度も……

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

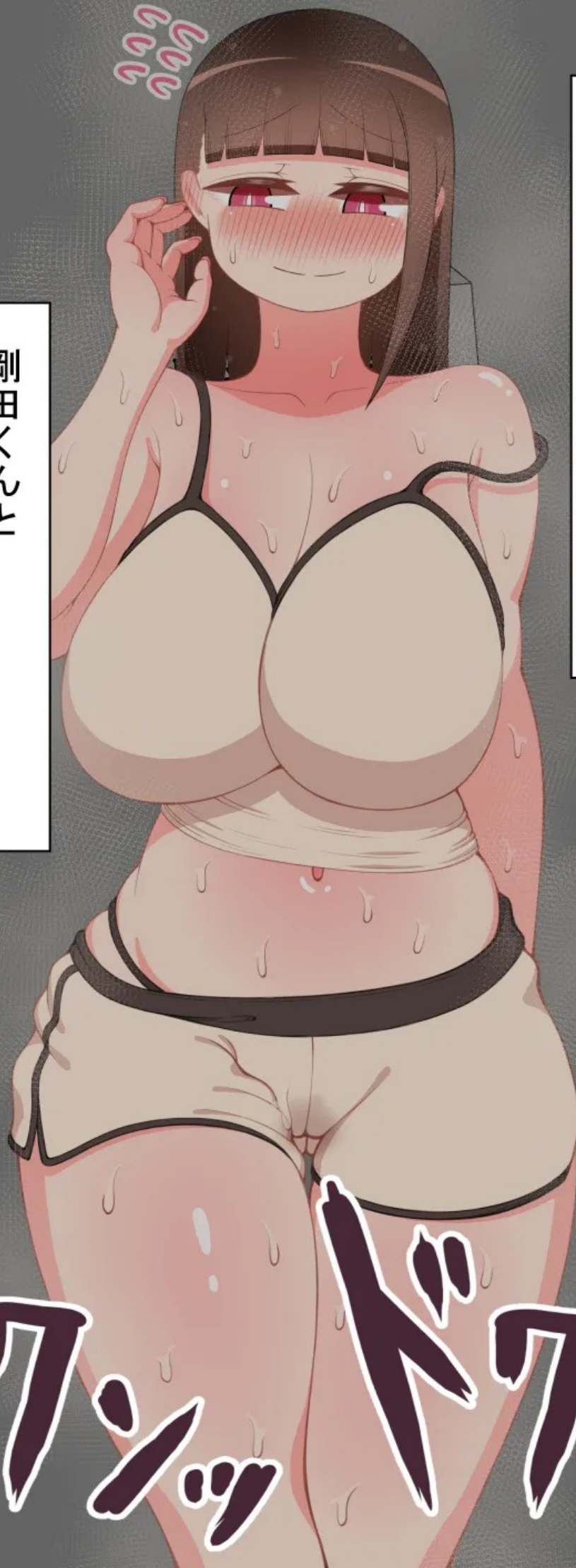


…陽菜子ちゃんの欲求不満は

剛田くんと
セックスしなくなってから
少しずつ

確実に強くなって
いった。

ドクンッ ドクンッ



…決心しなければならない。

しかし欲求不満という
今までにない状況が

恐怖を増幅させていた。

ハア…ッ!!

ハア…ッ!!





僕は...





ん
...
♡

ハア...ッ!!

ハア...ッ!!

ヌチャ♡

ヌチャ♡



：どれだけ一生懸命
腰を振っても

陽菜子ちゃんの膣奥には
届かない。

僕のおちんちんでは
気持ちよくできない。



…だから僕は

何とか欲求不満を
解消できればと

あるものを
通販で買ってきた。

フウ……ッ

フウ……ッ



ひ、陽菜子ちゃん

その、試したいものがあるんだけど……っ



そうやって僕が
取り出したのは

腰に装着するタイプの
デイルドだった。

とても硬いが
中は空洞になっていて

男性でも勃起したまま
装着することができる。

・・・そして
その長さとおさは



写真や動画を参考に
剛田くんと同じものを
選んで・・・

ハア・・・ッ

ハア・・・ッ



僕はそれを腰に装着し

陽菜子ちゃんに伝えた。

きよ、今日はこれで
エッチしてみたいんだけど……

אז... נכון.



僕の問いかけに

陽菜子ちゃんはジッと
オチンポを見つめると……



.....
シてみる？

.....

ッ
.....
!!



顔を背けて
こちらを伺うように...

けれど頬を赤くして
興奮したようにそう言った。

僕は嫉妬めいた感情と
胸のざわつきに呼吸を荒くしながら

恐る恐る

オチンポを陽菜子ちゃんのおまんこにあてがい……

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!



優しくゆっくりと……

あっ
♡
♡

んっ
♡
♡

ヌッ
♡

ヌッ
♡
♡
♡



オチンポを挿入するのに

こんなにも腰を動かすのかと
戸惑いながら……



ツ
~~~~~  
♡♡♡

…他のオスの  
オチンポで

初めて  
陽菜子ちゃんの  
膣奥に触れた。

ヌプン♡



それと同時に  
陽菜子ちゃんの膣内は  
ビクビクと震え始める。

ッ  
♡  
♡  
♡

ッ  
♡  
♡  
♡

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!





挿入しただけで  
軽い絶頂に達する  
陽菜子ちゃんに

改めてこんなにも  
違うのかと……

胸がざわついた。

ドワンッ ドワンッ





僕はグツと  
唇を噛みしめながら

ゆっくりと  
腰を動かし始める。

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

ドワッ ドワッ



あッ♡♡

んッ♡♡

ヌポ♡

ヌポ♡





はあ♡♡

はあ♡♡

すげー♡♡

ヌポ♡

ヌポ♡





奥っ♡♡♡

おくっ♡♡♡

おくすぐいいよっ♡♡

ヌポ♡

ヌポ♡



膣奥の快樂に身もだえし

あんっ♡♡♡

あっ♡♡♡

ハア……ツ!!

ハア……ツ!!

僕のおちんちんの時とは  
全く違う反応を示す陽菜子ちゃん。

ヌポ♡♡♡

ヌポ♡♡♡



陽菜子ちゃんが  
感じれば感じるほど…

きもちい♡♡

おくきもちい♡♡

その欲求不満が  
解消される喜びと同時に

オスとしての格差を  
思い知らされていく。

ヌル♡

ヌル♡



そして……

あっ♡♡

イクっ♡♡

イキそう……っ♡♡

ッ  
……  
!!

ヌル♡

ヌル♡





陽菜子ちゃんがもう  
絶頂を迎えようとしていた。

イク……っ♡♡

イクっ♡♡

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

……僕のおちんちんでは  
一度も達したことの無い絶頂に。

ヌポ♡♡



僕では何時間腰を振ったって  
たどり着かない絶頂に

たったこれだけで……

イクイク……っ♡♡

イクっ♡♡

ヌポ♡

ヌポ♡











はあ♡♡♡

はあ♡♡♡

ハア…ッ!!

ハア…ッ!!

ビュル♡ビュル♡

アッ♡





はあ……♡

はあ……♡

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

ビュ♡ビュ♡



…しかし

それでも…





ふっ...♡

ふっ...♡

…ありがと

雄一

気持ちよかったよ

……





剛田くんの時のような  
満足とはほど遠く



A manga-style illustration featuring a woman with large, prominent breasts and a man's head at the bottom. The woman has brown hair with bangs and is looking down with a slight smile. She is holding her breasts with both hands. The man's head is at the bottom, wearing a black headband, and is looking up at the woman. The background is dark with some faint, stylized patterns. There are two speech bubbles: one on the right side of the woman's chest and one on the left side of her chest.

……どっか

物足りなさそうに  
思えて……











物足りなかったんじゃないかって...?

え...?

エッチの後のピロートーク。

隣で寝転がる  
陽菜子ちゃんに

僕は思い切って  
尋ねてみた。





すると陽菜子ちゃんは  
少し困ったような

……あゝ……

思い悩むような  
素振りを見せると……





：私のために  
あのおもちや  
買ってくれたり

気持ちよくしてくれて  
ほんとに凄く凄く  
嬉しかったよ





でもやっぱり...

“本物”じゃないから...

...かも

ッ...!!

男の子もさ

オナホールと  
本物のおまんこじゃ

たとえ同じ気持ちよさでも  
全然違うんじゃない？

ドワンッ ドワンッ



…それと同じだと思う

たとえ気持ちよくても  
オスとして満たされない

メスとして  
満たされないっていうか…

ドワンッ ドワンッ

…言われてみて  
その気持ちはわかる気がした。

おもちゃでは  
たとえ気持ちよくても

生殖行為を  
している…

交尾しているという  
生物としての充足感  
は得られない。

ドワンッ ドワンッ



その気持ちはわかる。

わかるけれど……

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

僕は思わず  
陽菜子ちゃんに  
尋ねた。

ドクンッ ドクンッ



じゃ、じゃあもう一度…ッ





...剛田くんのオチンポッ

入れたいって思う...ッ?



…強いオチンポを持つてる人なら  
タケシ君や蛇川君もいた。

でも真っ先に  
口をついて出たのは

実際に陽菜子ちゃんを  
快楽でトロトロにした  
剛田くんで…







…僕の問いかけに

陽菜子ちゃんは…



あつ

でもだからって  
勝手にエッチしたりは  
しないよ

雄一のためならまだしも  
自分のために勝手にするのは  
ただの浮気だから……

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!





雄一が決めたことに  
従うから

寝取らせるかどうかは  
雄一に任せるよ

シなくても  
私は我慢するし

オナニーでなんとか  
するから

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!





陽菜子ちゃんは  
矢継ぎ早にそう付け加えた。

…しかし、それと同時に



...ただ

もし寝取らせるなら...

一つだけ知っておいて  
欲しいことがあって...





目をそらし、眉尻を下げ

どこか負い目のあるような表情で  
陽菜子ちゃんはそう呟いた。



なに……？

僕は恐る恐る尋ねる。



...その

剛田くんとシなくなって

欲求不満がだんだん  
大きくなってって...

し



前より私の中でね

“女”が強くなってるって  
感じるの

ッ  
...  
!!

メスの本能が大きくな  
ってるっていうか...





だから今…

強いオスに魅力を感じやすくなってる

…惹かれやすくなってる

ハア…ツ!!

ハア…ツ!!



次エッチしたら...

雄一を好きって気持ちは  
絶対変わらないけど...

フウ...ッ!!

フウ...ッ!!



…それでも

どうしても

本能では惹かれちゃう  
部分があると思う…

…前回よりも強く

ハア…ツ!!

ハア…ツ!!



それだけ  
知っておいて欲しくて...

寝取らせを決めてね

さつきも話したけど  
シなくても私は我慢するから

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!



…欲求不満で  
メスの本能が高まり

強いオスに魅力を  
感じやすくなってて

惹かれやすくなってて…

ドワンッ ドワンッ



次エッチしたら

僕への気持ちは  
変わらないけど…

本能では惹かれてしまう。

前回の  
寝取らせの時よりも、強く。

ハア…ッ!!

ハア…ッ!!

ドワンッ ドワンッ

そんな状態の陽菜子ちゃんが  
強いオスと交尾する。

“寝取られる隙”のある  
陽菜子ちゃんが

陽菜子ちゃんをまだ  
本気で狙っている剛田くんと…

ドワンッ ドワンッ

寝取られる恐怖が  
心臓を叩く。

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

……陽菜子ちゃんのこと  
は信じてる。

でも僕は自分に  
自信がなくて……

ドワンッ ドワンッ



だから陽菜子ちゃんが  
言ってくれた

『僕への気持ちは  
絶対変わらないけど』という  
言葉に

ッ  
.....  
ッ

...自信が持てない。

ドクンッ ドクンッ

“もしかしたら”を  
想像してしまつて……

ハア……ツ!!

ハア……ツ!!

どうなつてしまふか  
わからない恐怖が

不安と焦燥が  
心を焼いていく。

ドクンッ ドクンッ

嫌だと泣き叫ぶ理性。

欲求不満を  
解消してあげたい気持ち。

…それでも滲み出す  
凄まじい仄暗い興奮。

ドクンッ ドクンッ





僕は……

フウ……ッ!!

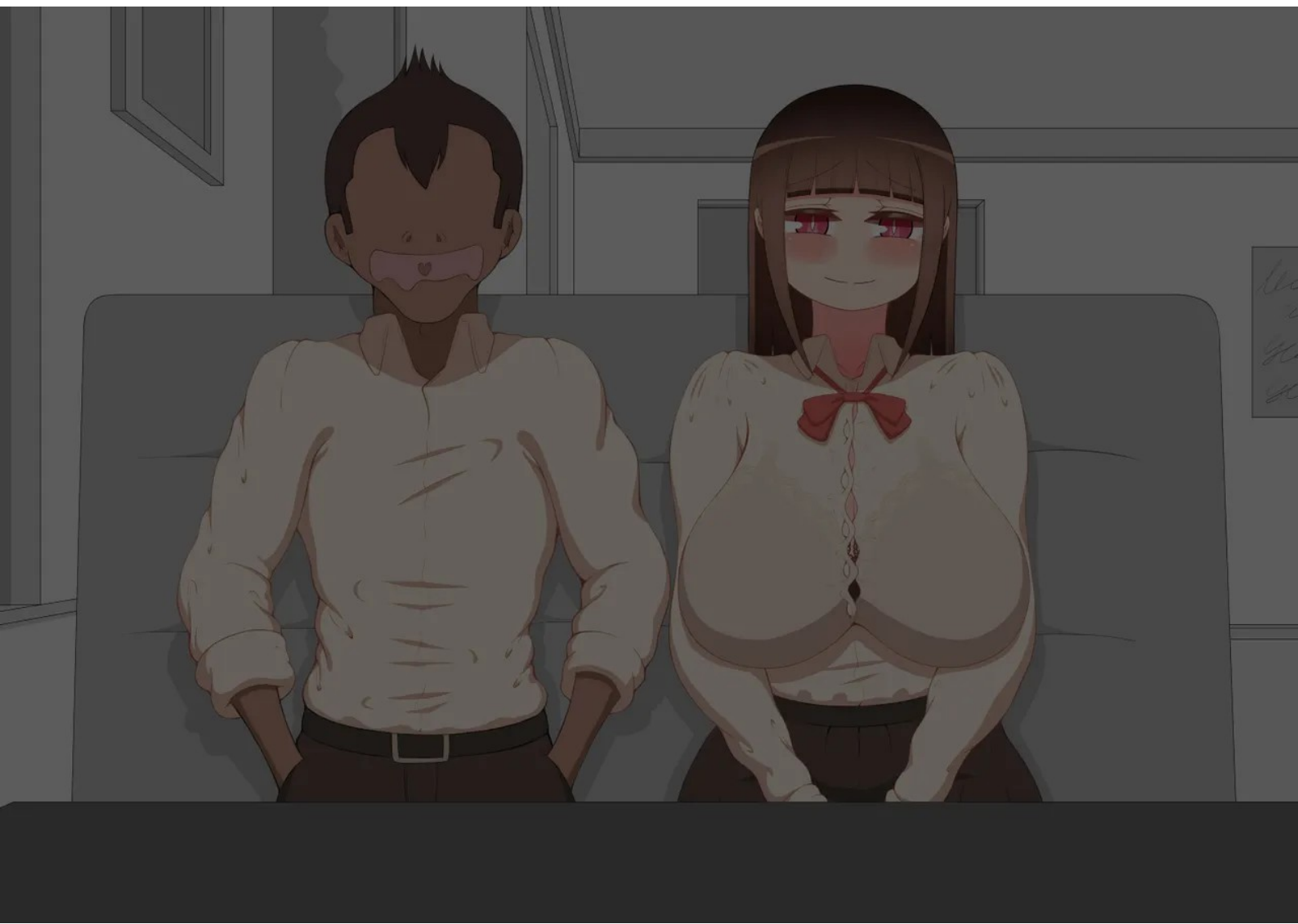
フウ……ッ!!

僕は……



…  
一週間後





新学期が始まり

放課後にて









…話を聞いた剛田くんが

いやらしく笑いながら  
そう言った。

まああんだけ  
交尾しまくってたのに  
急にしなくなったんだ♡

そうなるかもなって  
予想はしてたが…♡

付け入る隙が  
あるとすりやそこだって…♡









陽菜子の欲求不満は  
俺が解消してやる♡♡

ドワンッ ドワンッ

…心臓の鼓動が速まる。

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

恐怖と不安と焦燥で  
胸を掻き毟られる。

ドクンッ ドクンッ

結局僕は  
寝取らせをすることに  
決めてしまった。

…怖くて不安で

今も理性は  
嫌だと叫んでいるけど…

ドクンッ ドクンッ



それでも  
陽菜子ちゃんの欲求不満を  
解消してあげたくて…

どうしようもなく  
深まった寝取られ性癖の

仄暗い興奮に  
誘われて…

フウ…ッ!!

フウ…ッ!!

ドクンッ ドクンッ





剛田くんはそう言っと

いやらしい笑みを深めて  
こう続けた。





俺は何も  
報告しないし

写真や動画も  
送らない♡

当然陽菜子が  
報告するのも禁止♡

ドワンッ ドワンッ

それが条件だ

どうだ？

寝取られ性癖ってのは  
"わからない"ことにも  
興奮するみたいだよ♡

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!







もう手の平で  
転がされるのは  
ごめんだからな♡

それに……

フウ……ッ!!

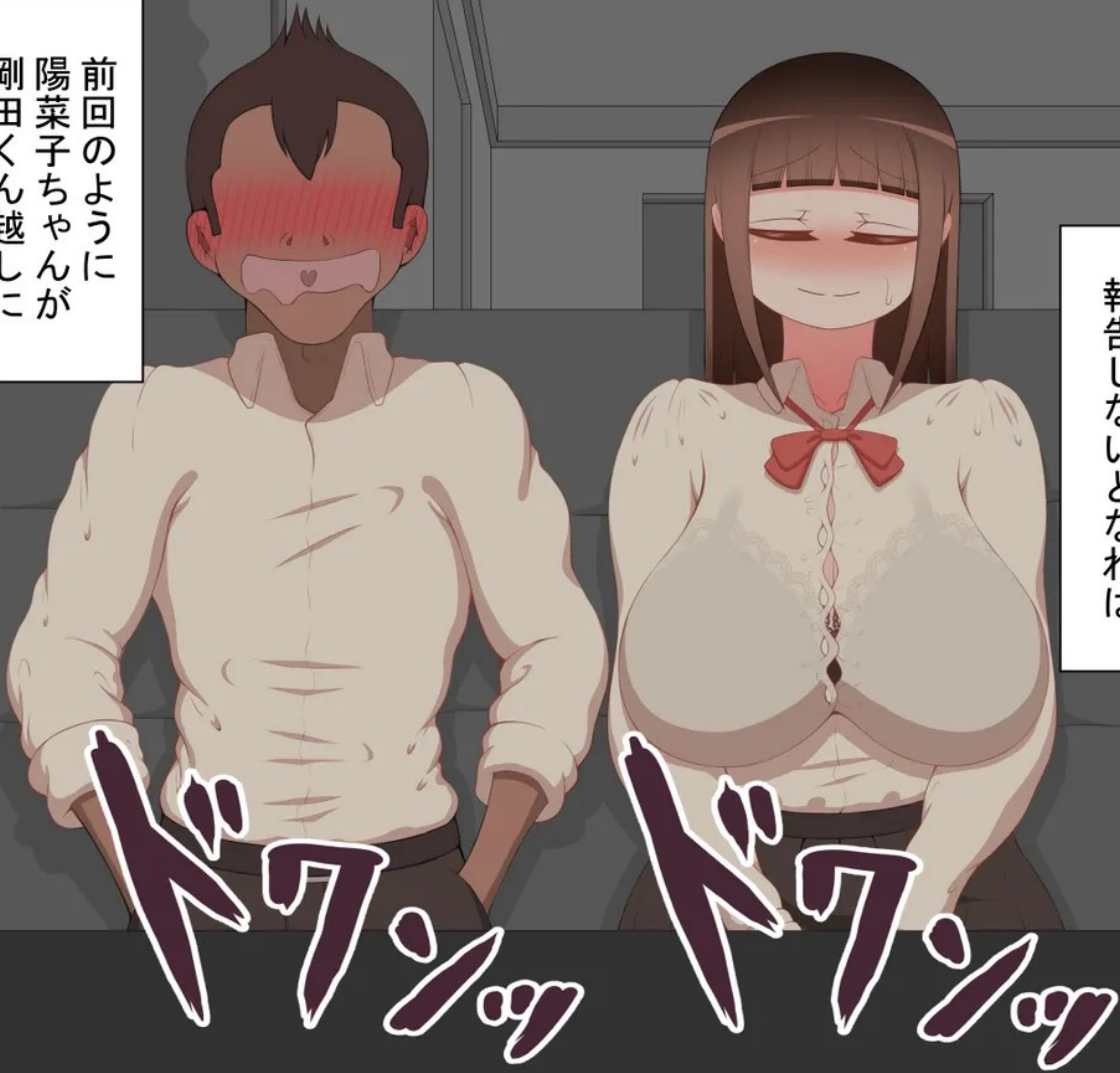
フウ……ッ!!

：：陽菜子ちゃんによる  
報告を禁じ

剛田くんも  
報告しないとなれば

前回のよう  
に陽菜子  
ちゃんが  
剛田くん  
越しに

僕へ間接的  
に報告する  
ことも  
出来なくな  
る。



そうならば  
陽菜子ちゃんは僕に  
何も知らせることが  
出来ないから……

演技する意味もなくなって

へへっ  
♡♡

剛田くんは  
前回のように手の平で  
転がされる事もなくなる。





そうして僕達に

主に陽菜子ちゃんに  
主導権を握らせない  
剛田くんの条件に

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

心臓の鼓動は速まり  
じわりと脂汗が滲んだ。

ドワッ ドワッ

そして  
剛田くんの言う通り…

フウ…ッ!!

フウ…ッ!!

わからないほど  
不安と焦燥は強くなり

仄暗い興奮は高まる。

ドクンッ ドクンッ

今も全部秘密と言われ

胸が掻きまられる  
想いと同時に……

股間は忙しなく  
ビクビクと反応していた。

ドクンッ ドクンッ



しかし……

へへっ♡♡

陽菜子ちゃんが欲求不満という  
“寝取られる隙”のある状態で

なおかつ交尾すれば前よりもっと  
本能で惹かれてしまう状況で

ドワンッ ドワンッ

何もわからない。

何も把握できない  
というのはあまりに  
怖かった。

理性はダメだと  
振り絞るように叫ぶ。

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

ドワッ ドワッ

けれど……

どうしようもなく深まった  
寝取られ性癖は

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

そんな恐怖さえ  
興奮に変えて……

ドクンッ ドクンッ



今決めてくれよ？

また今度ってのは  
なしだ♡♡

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

ドワンッ ドワンッ

僕は……

僕は……

ツ  
ッ  
ッ  
ッ  
ッ  
!!

ドクンッ ドクンッ







陽菜子ちゃんが  
嫌なことは  
しないでね……ッ!!

だけど絶対……ッ

ドワッ ドワッ



仄暗い興奮の誘惑に、抗えない。



剛田くんはそう言って  
いやらしく笑うと……

契約成立だな♡♡

…へへっ♡

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!





なんの躊躇もなく

陽菜子ちゃんに向かって  
手を伸ばして……



久々の  
陽菜子の体だぜ♡♡

あゝ……♡

んっ♡

モニユレ

ツ  
……  
!!



まさかこんなに早く  
また陽菜子と交尾できる  
なんてなあ♡♡

モ〜ユ♡

モ〜ユ♡

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

無遠慮に陽菜子ちゃんの  
柔乳を揉みしだしていく。

モ〜ユ♡

モ〜ユ♡

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

俺のチンコが  
恋しかったんじゃねえか？

陽菜子もまた  
俺と交尾出来て  
嬉しいだろ♡

モニユ♡

モニユ♡

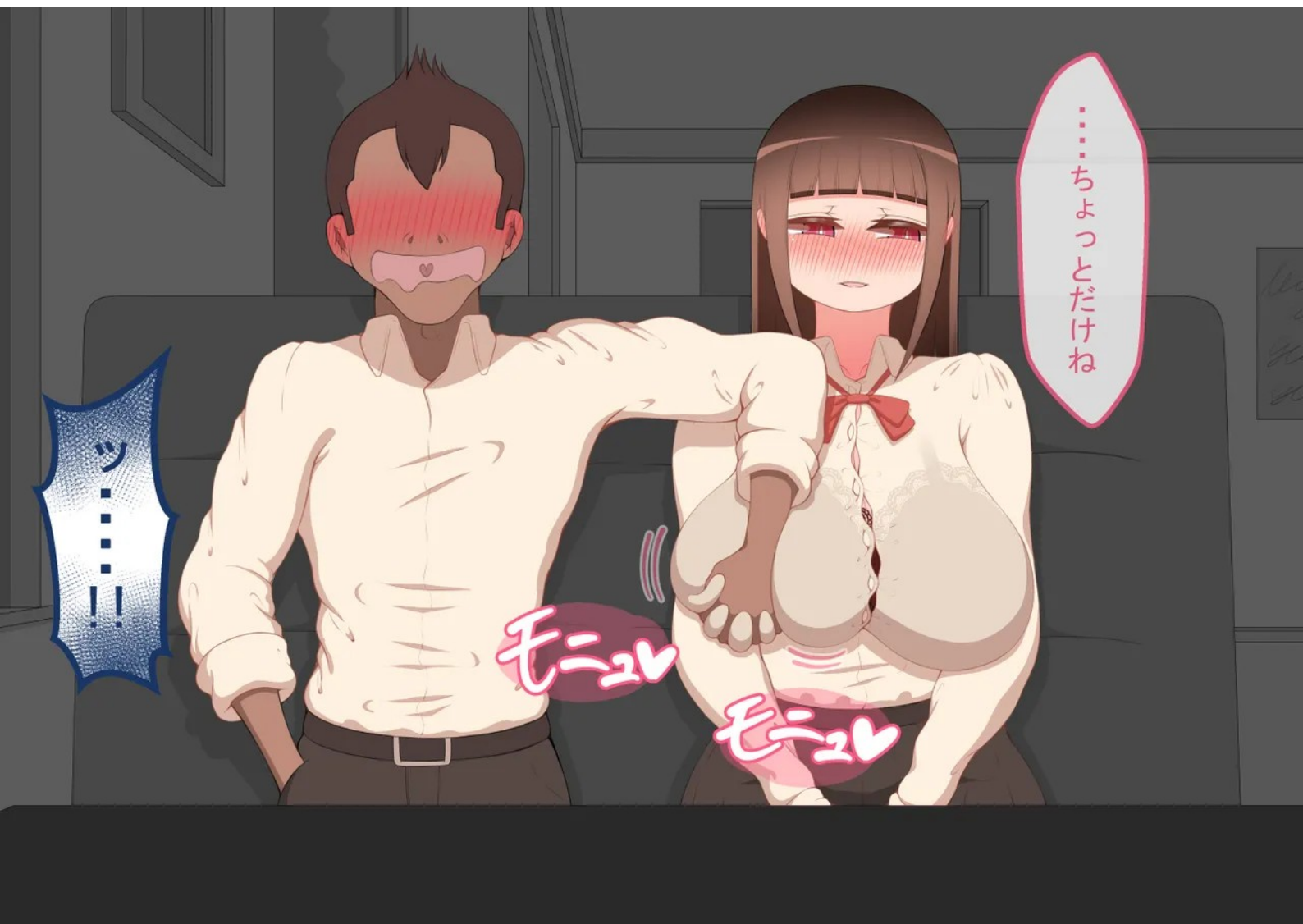


その言葉に  
陽菜子ちゃんは

少しだけ横目で  
剛田くんの股間を見やると…









素っ気なくも、そう答える。

でへへっ♡

いい返事だ♡

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

モニゅ♡

モニゅ♡

：・陽菜子ちゃんが  
剛田くんのオチンポを  
求めていることはもう知ってたけど

…それでも  
『恋しかったか』という問いかけに  
肯定するのは…

胸がざわついて  
掻きまわられた。









……うして

欲求不満な陽菜子ちゃんと  
剛田くんが交尾する

全て秘密の寝取らせが

……決まった。









日曜日

午前8時



……それじゃあ  
行ってくるね

夜には帰ってくるから





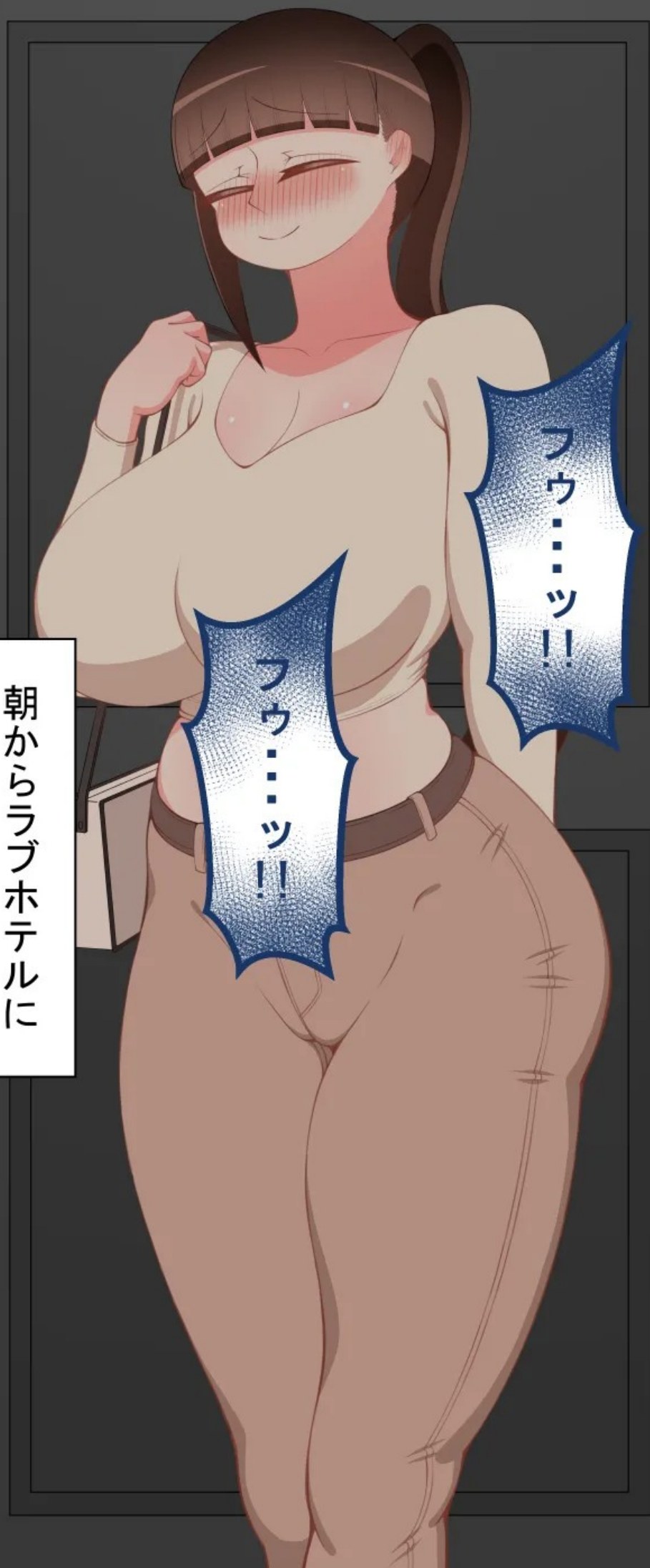
…寝取らせの予定は  
シンプルだった。

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

朝からラブホテルに  
入り浸り

夜まで  
セックスし続けるという  
交尾漬けの1日。



：帰ってきて  
何をシたのか  
報告出来ないから

：これだけは  
もう一度言っておくね

ハア…ツ!!

ハア…ツ!!



雄一への気持ちは  
絶対変わらないよ

これだけは  
確信して言える

……でも





それでもどうしても

本能では  
惹かれちゃうと思う……

……前にエッチした時より、強く

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!



陽菜子ちゃんの言葉に  
心臓が破裂しそうなほど  
鼓動する。

恐怖と不安と焦燥が  
一気にあふれ出した。

ドクンッ ドクンッ





欲求不満で  
メスの本能が高まってて…

強いオスに  
魅力を感じやすくて

惹かれやすくて…

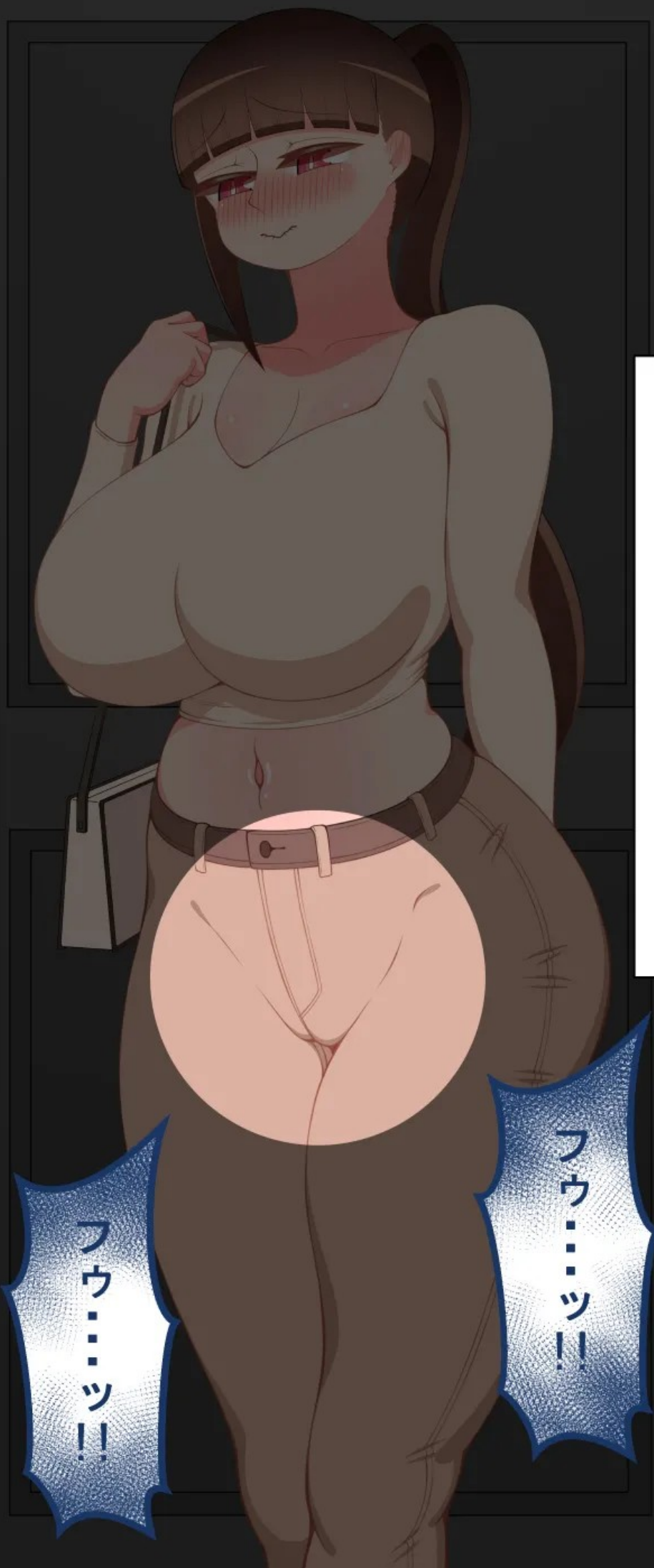


エッチしたら、惹かれてしまう。

メスとしての本能で  
強いオスに惹かれてしまう。

フウ……ッ!!

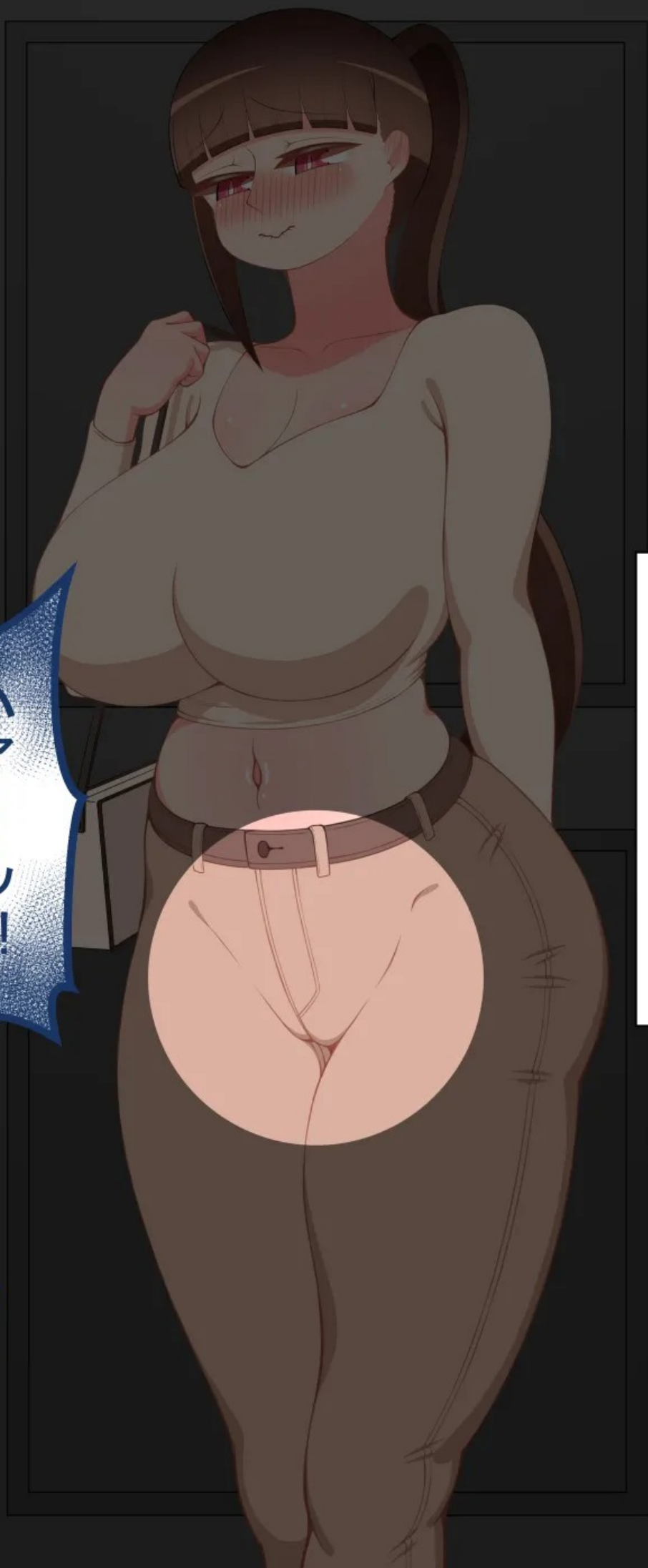
フウ……ッ!!



…前回よりも、強く。

ハア…ッ!!

ハア…ッ!!



……それじゃあ  
行ってくるね

ッ  
……  
!!

し







あーっ……!!

あ……ッ!!

ツ  
ス  
ス  
ス  
!!

無意識のうちに  
出た  
静止の言葉は  
形になることなく

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

陽菜子ちゃんは  
行ってしまう。

ドクンッ ドクンッ



…寝取られる隙のある状態で

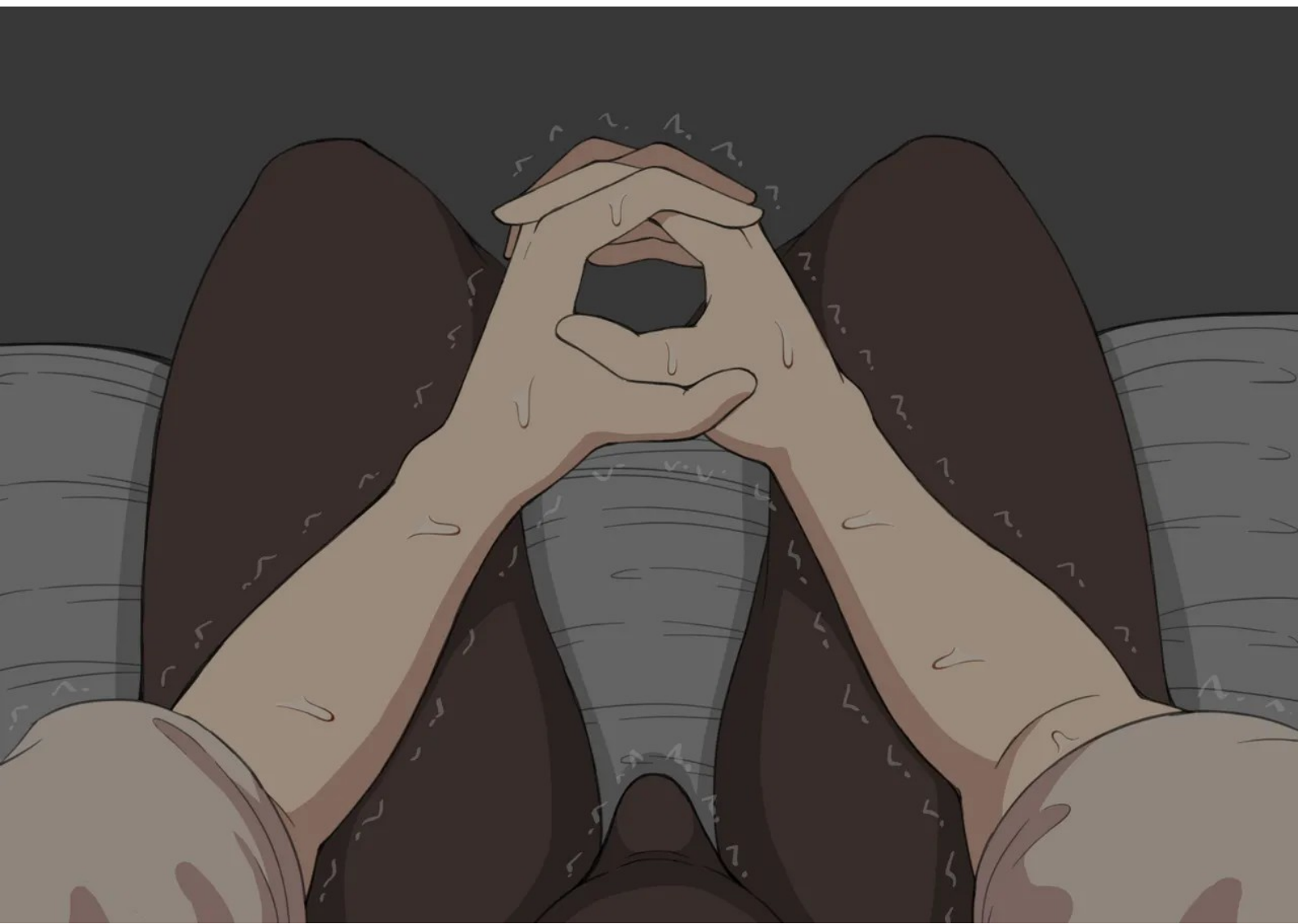
フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

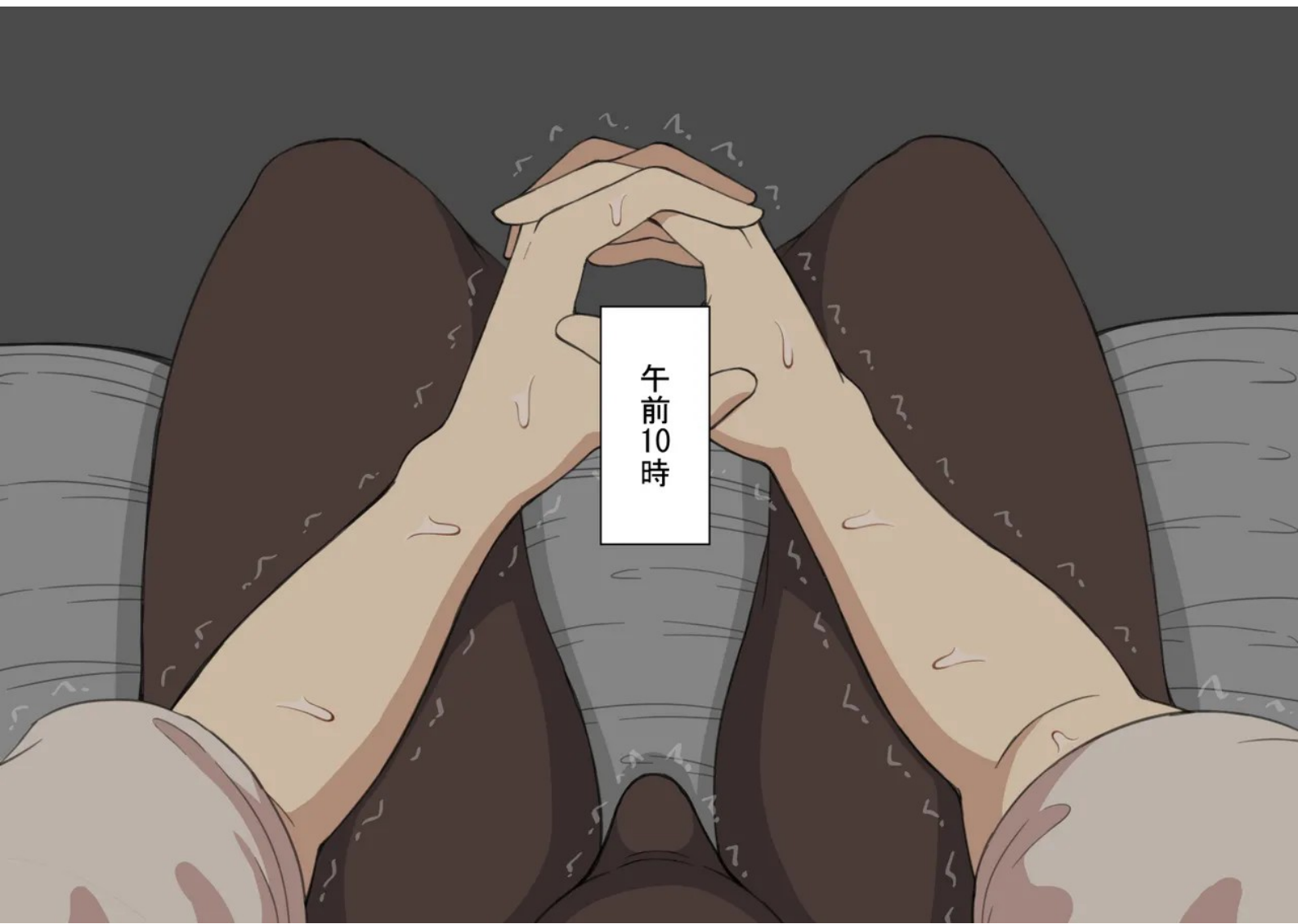
強いオスに抱かれてしまう。

ドクンッ ドクンッ







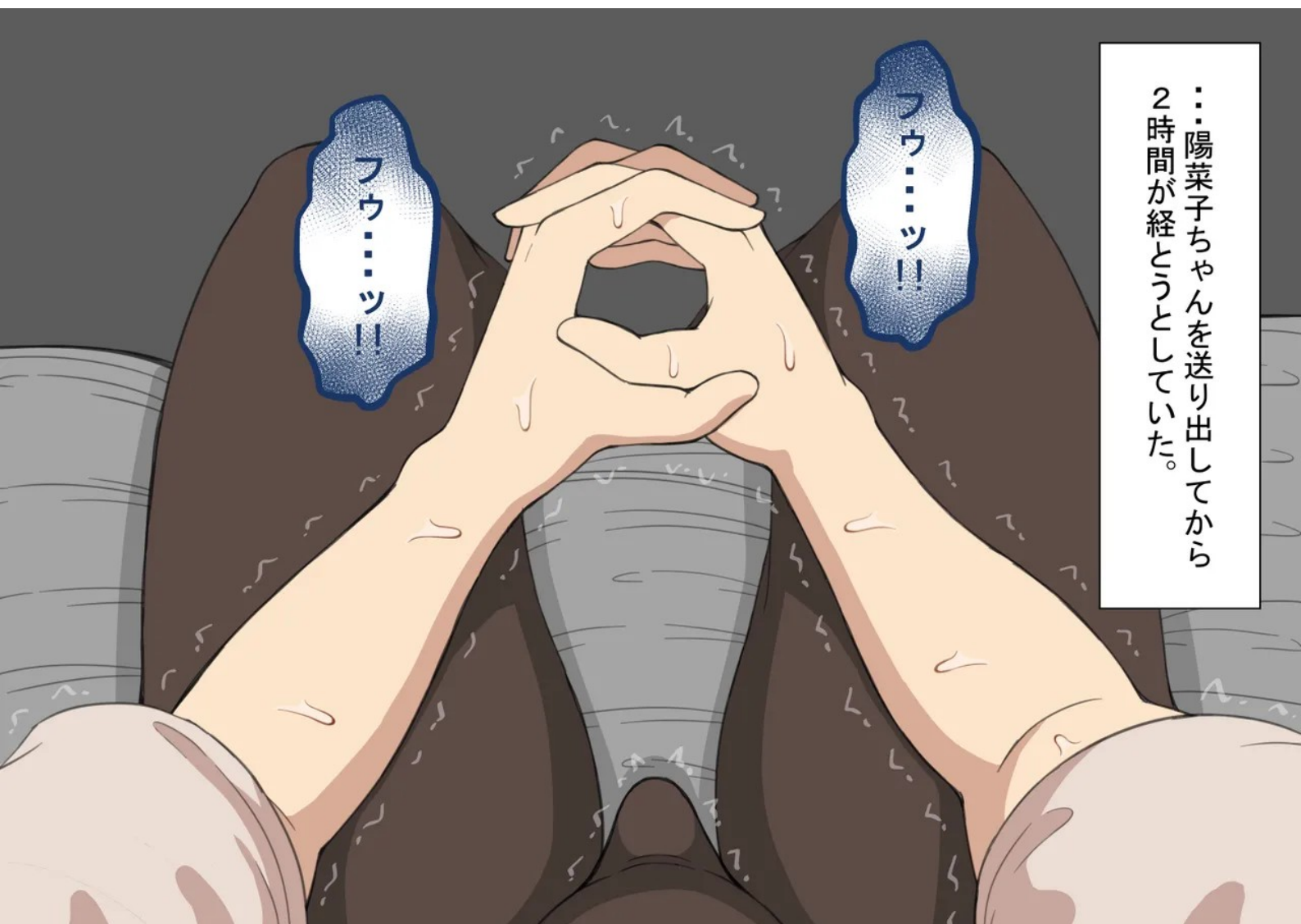


午前  
10時

∴陽菜子ちゃんを送り出してから  
2時間が経とうとしていた。

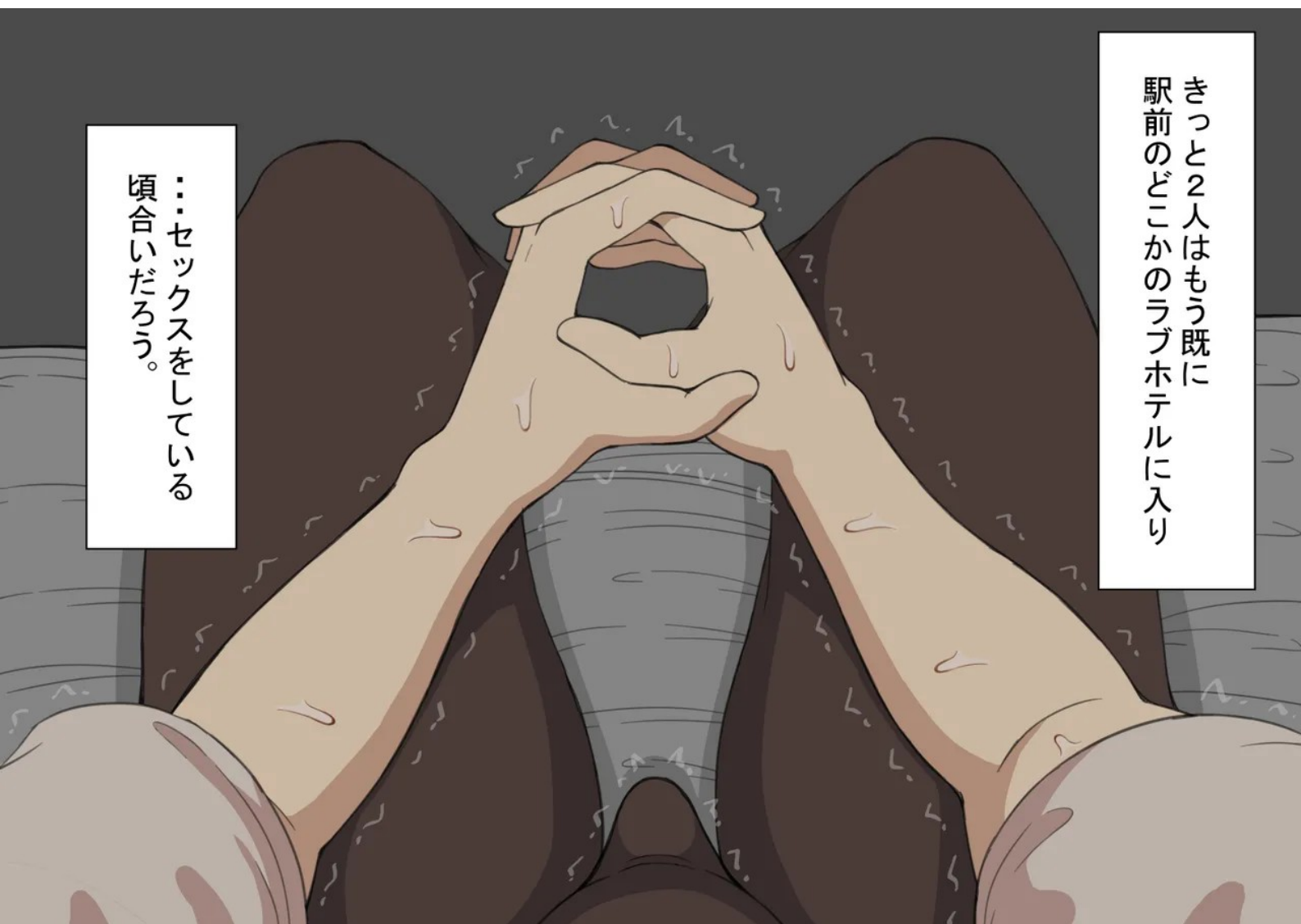
フウ……ッ!!

フウ……ッ!!



きっと2人はもう既に  
駅前のどこかのラブホテルに入り

：・セックスをしている  
頃合いだろう。





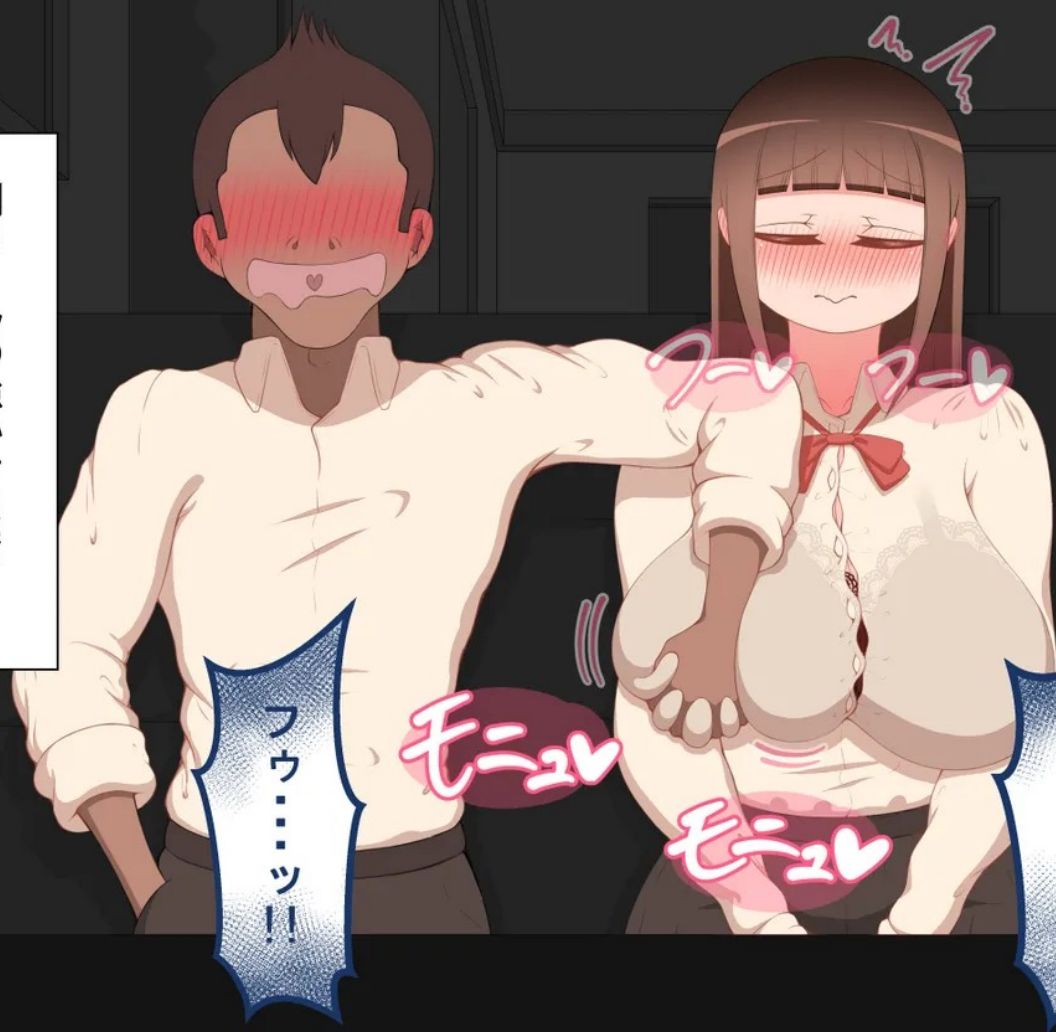
僕より強いオスとの交尾。

久しぶりの、本物のオチンポ。



欲求不満の  
陽菜子ちゃんのメスが

剛田さんの強いオスで  
満たされようとしている。



恐怖で心臓の鼓動は  
激しさを増し

不安と焦燥で  
心が焼けるように痛んだ。





……まだ

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

始まったばかり。











さらに3時間が経過し

13時ごろ



フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

ドクンッ

ドクンッ

……2人はもう  
何度セックスしただろうか。

剛田くんの  
強いオチンポは

何度陽菜子ちゃんの  
おまんこをイかせただろうか。

ドクンッ ドクンッ



：：陽菜子ちゃんは  
言っていた。

“本能ではどうしても  
惹かれてしまう”と。



…今まさに

陽菜子ちゃんは本能で…

剛田くんに  
惹かれてるかもしれない。

フウ…ッ!!

フウ…ッ!!

ドワッ ドワッ



しかもそれは  
前回よりも強く……

もっと魅力を  
感じているかもしれない。

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

ドクンッ ドクンッ



・・・そう考えるだけで  
恐怖に襲われる。

不安と焦燥で心が焼け

胸がどうしようもなく  
ざわつく。

ドクンッ ドクンッ

しかも今回  
僕は何も知ることができない。

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

どれだけ交わって  
どれくらい惹かれてしまったのか……

それを知ること  
も叶わない。

ドクンッ ドクンッ

わからない不安と焦燥も  
胸を搔き舐めた。

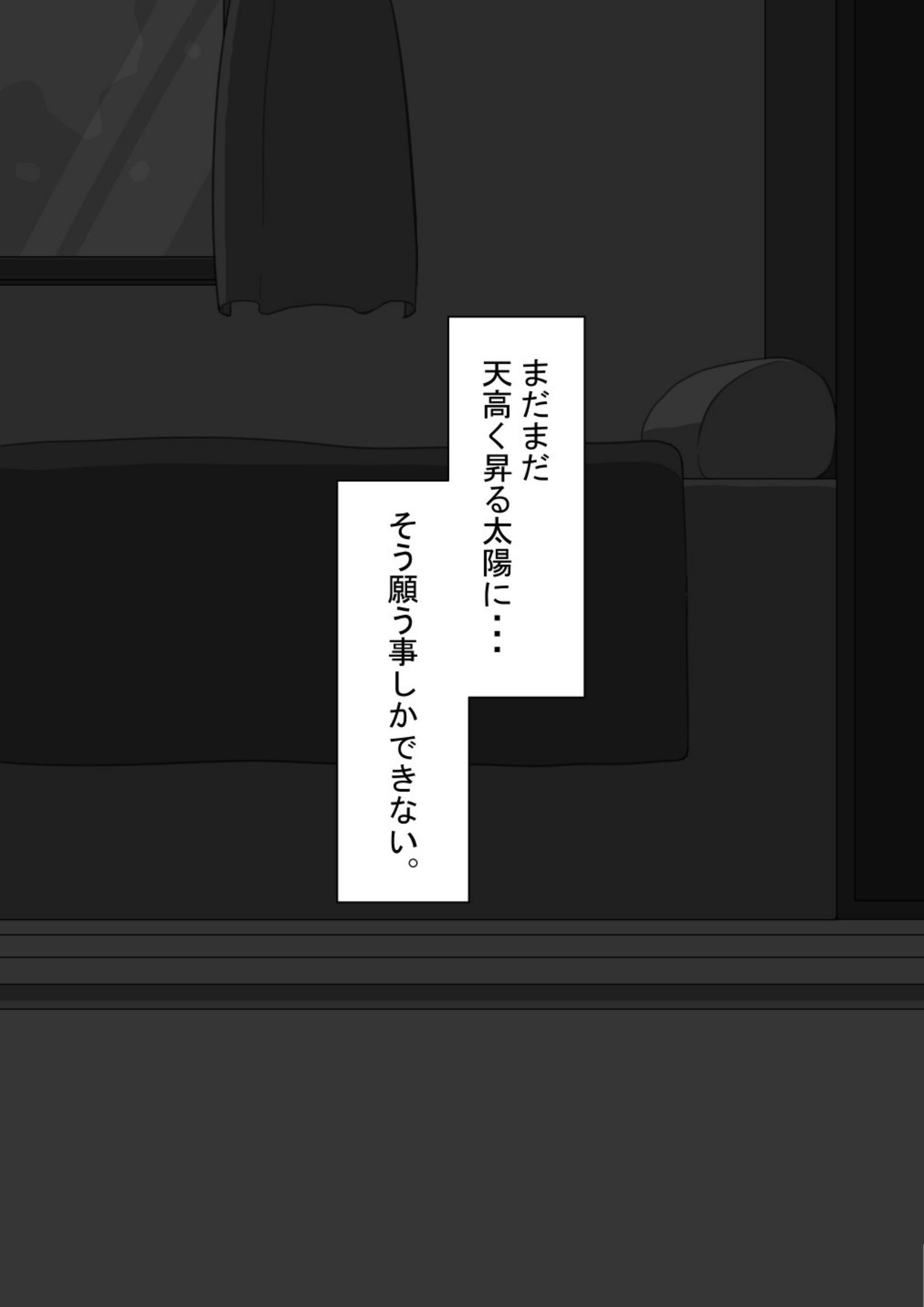
ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

……早く帰ってきて欲しいと  
ひたすら願う。

ドクンッ ドクンッ



A dark, minimalist illustration of a room. In the upper left, a window with a curtain is visible. Below it, a bed with a dark coverlet is shown. To the right of the bed, there is a dark, rounded object, possibly a pillow or a piece of furniture. The overall tone is somber and quiet.

まだまだ  
天高く昇る太陽に……

そう願う事しかできない。



…そうして願ひ続け

耐え続け

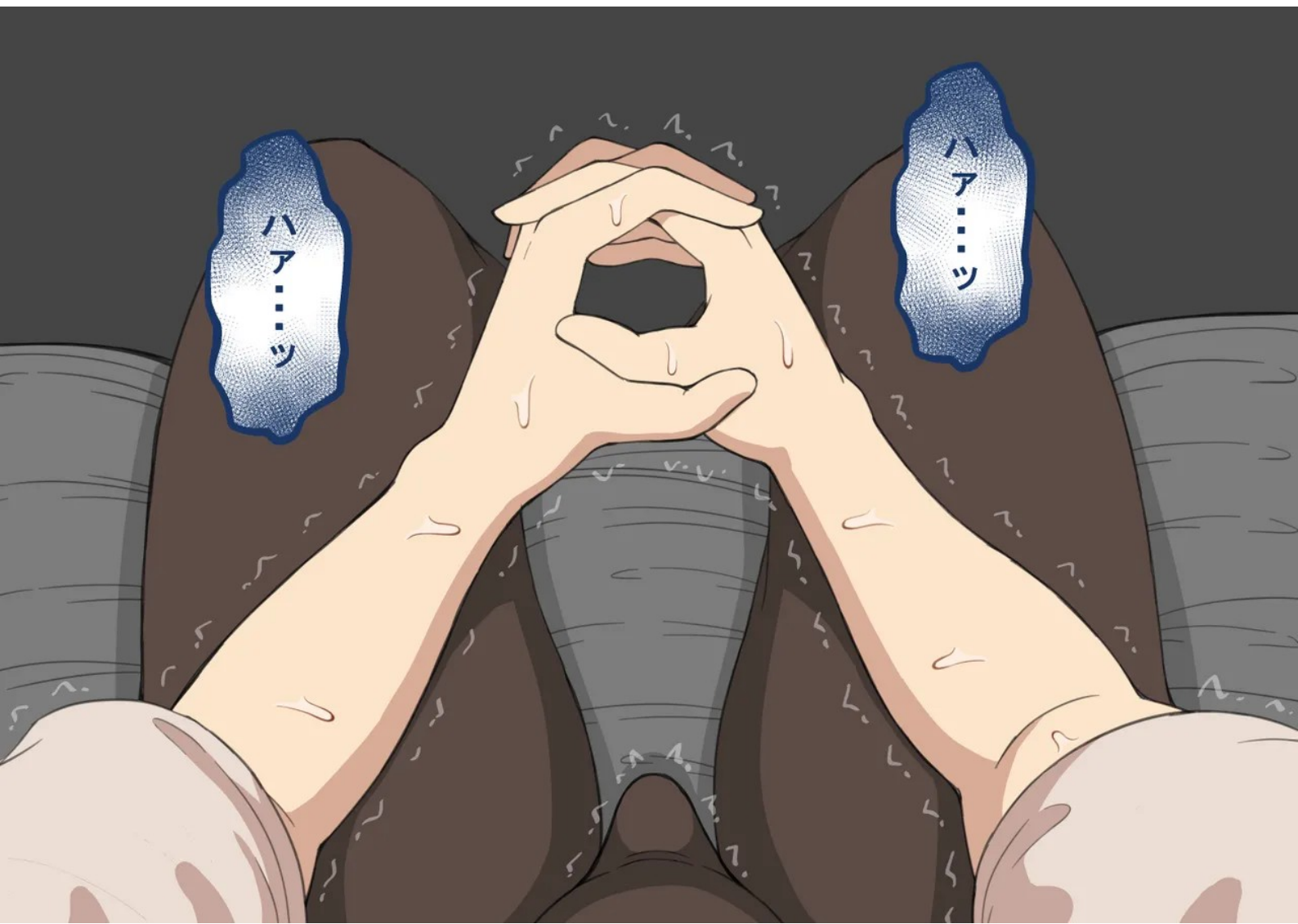


ひたすら帰ってくるのを  
待ち続けて

21  
時

…  
8  
時間  
後









…心身ともに疲弊していた。

一日中何も手につかず

ただ座っていただけなのに  
体が鉛のように重い。

……2人が交尾した回数は

フウ……ッ!!

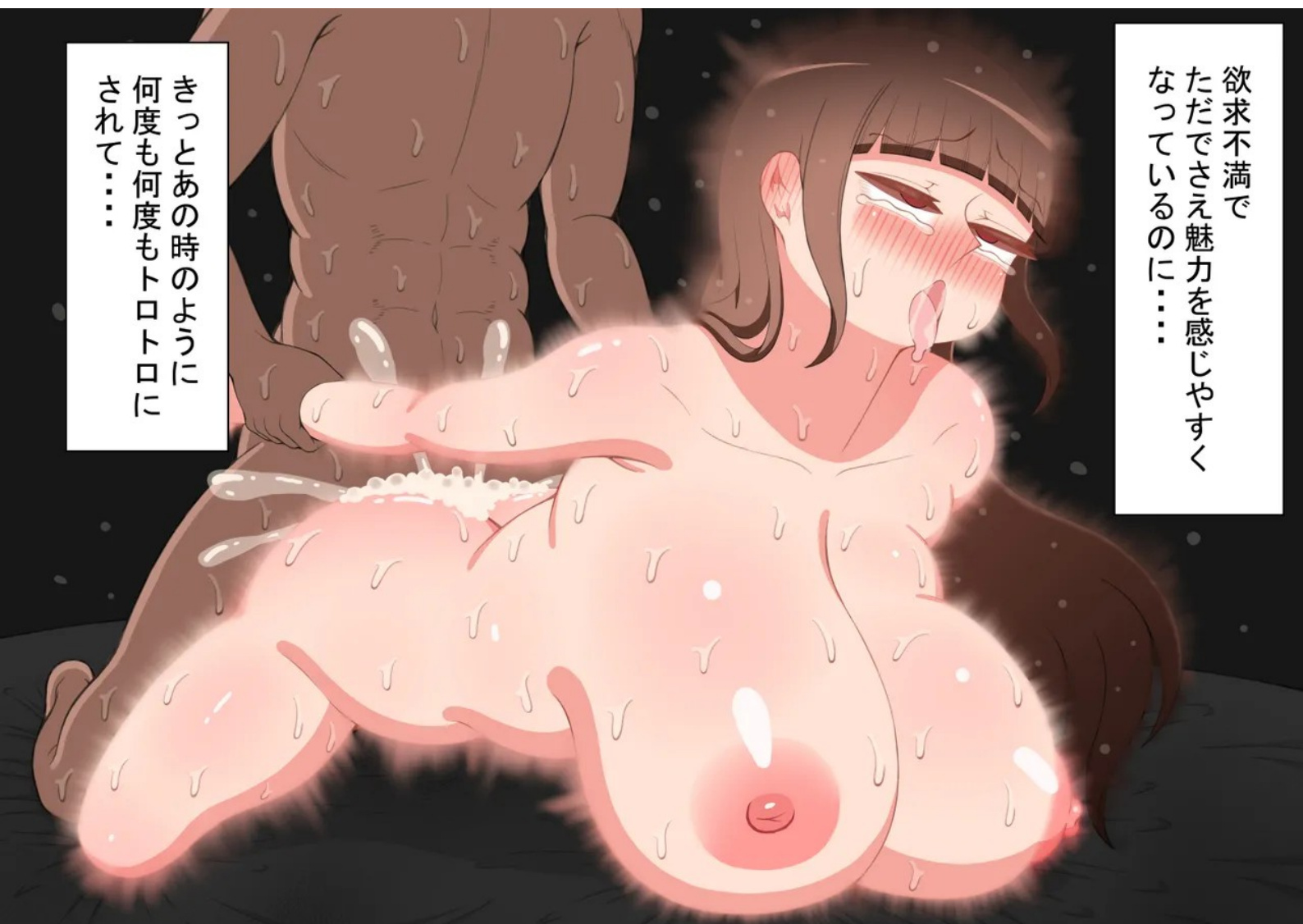
フウ……ッ!!

剛田くんが陽菜子ちゃんを  
気持ちよくした回数は

一体何十回に  
上っただろうか。

欲求不満で  
ただでさえ魅力を感じやすく  
なっているのに……

きっとあの時のように  
何度も何度もトロトロに  
されて……





恐怖が心を蝕む。

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

不安と焦燥が  
胸を掻き走る。



…しかし

時刻はもう21時。

日はすっかり落ちきって  
月が昇り

夜もいい時間  
になってきた。



そろそろセックスも  
終わっていいはず。

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

もう少しで陽菜子ちゃんも  
帰ってきてくれるはず。



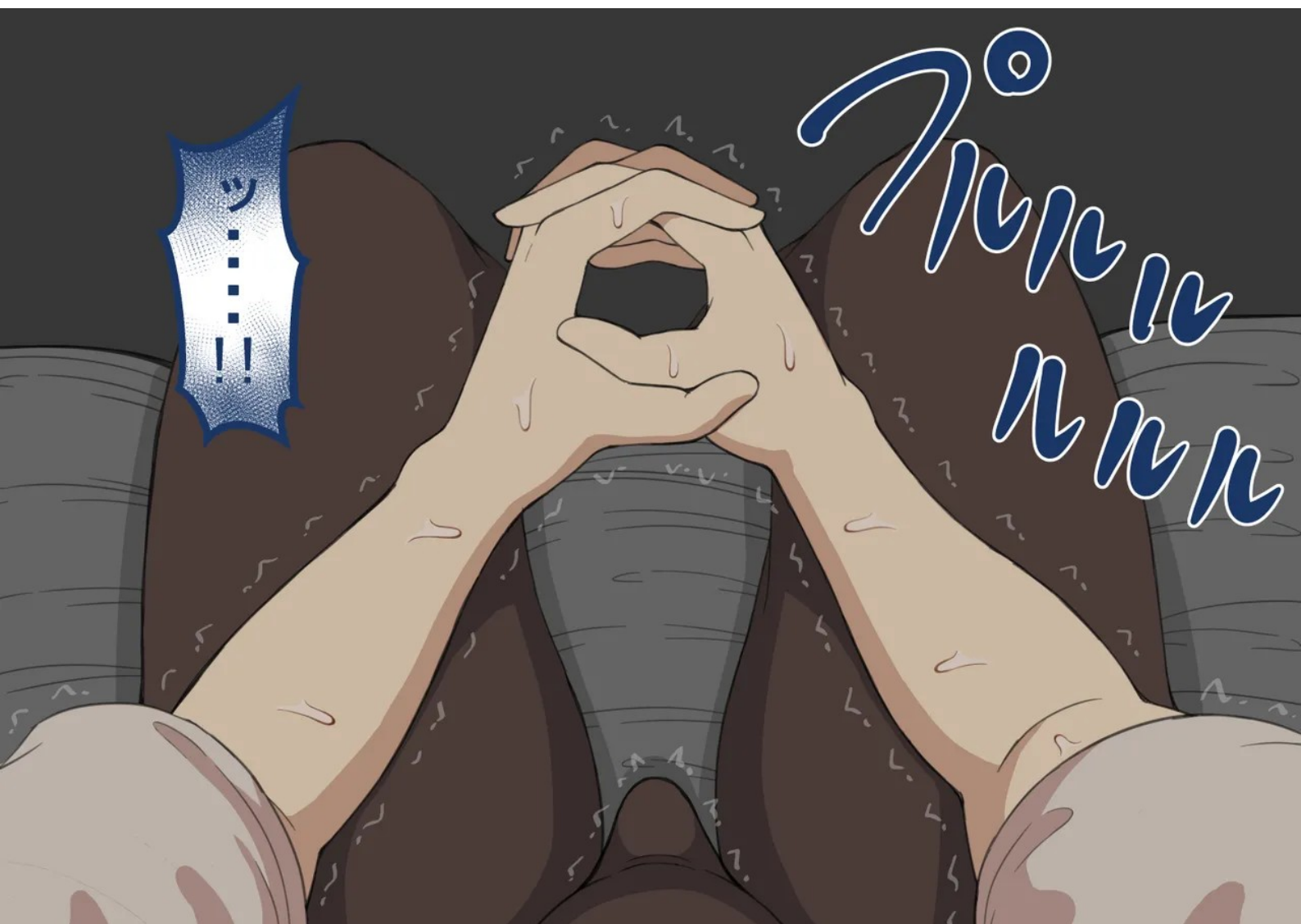


そんな希望にすぎり

祈るように耐えていた…

…その時。





着信が鳴る。

フルルルル  
フルルルル

ハア……ツ!!

ハア……ツ!!

僕はすぐに  
スマホを取り出した。



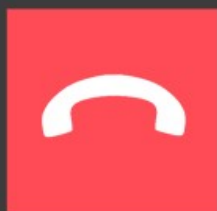
# 岡田くん

LIMEオーディオ...

するとそこには……

ツ  
……  
!!

岡田くんからの着信が  
表示されていて……



拒否



応答

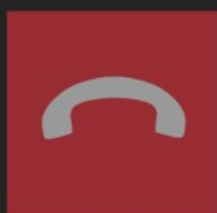
# 岡田くん

## LIMEオーディオ...

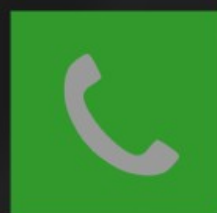
まさか連絡が来ると  
思わず

すぐに応答ボタンを  
押して叫んだ。

も、もしもし……ッ！?

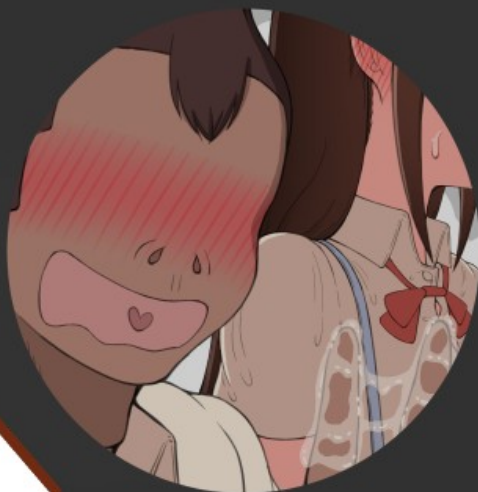


拒否



応答

すると一拍おいて  
剛田くんの声が聞こえてくる。



剛田くん

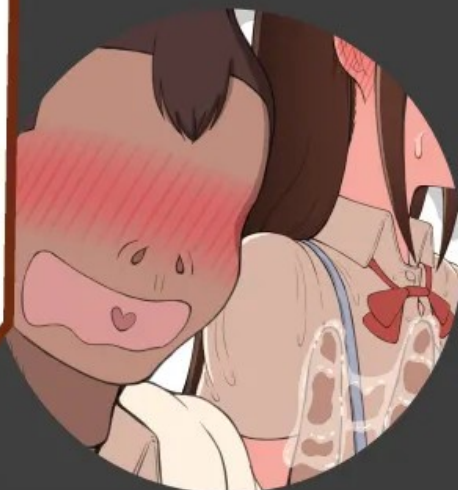
……よお  
♡

調子はどうだ？





さつきセックス  
終わったところでな♡



陽菜子はいま  
風呂に行つてて

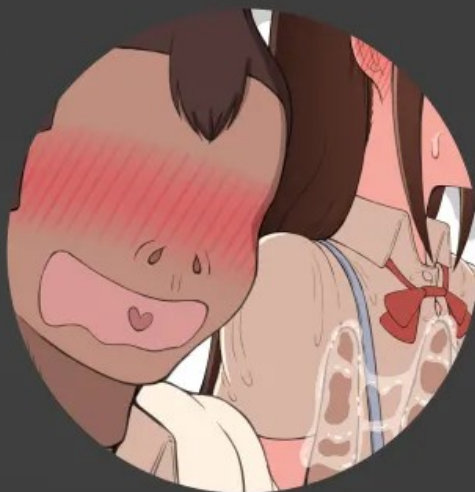
剛田くん

ッ  
...  
!!

こっから  
帰り支度するところ  
なんだが...



……ちよつと  
気が変わつてよ♡



剛田くん

短けえが  
お前に見せてやろうと  
思つてさ♡

え……？



そう言っていると  
通話がビデオ通話に  
切り替わり

カッ  
サ

……あつ

もう充電ねえな……

まあいいか

剛田く

ゴッ

スマホがどこかに  
セットされる。





そして……





ところどころ汁で汚れた  
ラブホテルの一室が  
映し出される。

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

ドクンッ ドクンッ







もうセックスも  
終わりなのに  
何を見せるんだって  
気になってると思うが...

...へへっ♡

ドワンッ ドワンッ



素の陽菜子"だよ♡♡♡

簡単だ♡

ツ  
...  
!!!

お前には何も  
知らせないってルール  
だからな♡

今の陽菜子  
はお前に見られると  
思っていないし

俺とのやり取りを  
知られるとも  
思っていない♡

お前のことは  
意識してない♡♡

ドワッ ドワッ



そんな素の状態を  
見せてやろうと思ってな♡

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

そんな剛田くんの言葉に  
ただでさえ速まっていた  
心臓の鼓動が

さらにその速度を  
増していく。

ドワッ ドワッ

もうセックスも  
終わりだが

まだちよつと  
イチャイチャするからよ♡

少しだけ  
見せてやるぜ♡♡

今度はカメラ気にして  
バレねえようにじねえとな♡

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!





“僕を意識していない”

“僕が見ていることを  
知らない陽菜子ちゃん”

ドワッ ドワッ



それはつまり

本音が垣間見えるかもしれない  
状態ということ。

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

ドワッ ドワッ

：脂汗がジワリと  
滲みだす。

見たいけれど

知りたいけれど

見てしまうのが  
とても怖い。

ドワーン ドワーン

そんな複雑な思いに  
駆られていると...

ガチャ

おっ



ツ  
...  
!!





ワイワイ

…髪乾かしてんな

そろそろくるか♡

あっ

ちなみにお前の声は  
こっちは聞こえなく  
してるからな♡

ハア…ツ!!

ハア…ツ!!



ワイワイ

それと……

くれぐれもこのことは  
陽菜子に言うなよ？

これからも  
素の陽菜子が  
見たいならな♡

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!



…そうしてしばらく  
ドライヤーの音が響いた後で

素足で歩く  
足音が近づいてくる。

ドワッ ドワッ

ハダ ハダ ハダ





そして……

ガラッ

ッ  
……  
!!

ドブッ ドブッ





お疲れさん♡

さっぱりした...

...はあ

ハア...ツ!!

ハア...ツ!!











カチャ

カチャ

散々色んな汁で  
汚れたでしょ？

絶対匂うよ

んゝゝゝ

まあ別に匂いは...





……あゝ……

お父さん家に  
いるんじゃないか？  
匂いでシタこと  
バレるよ

それに今日

カチャ

カチャ

カチャ

カチャ

…そういや  
そうだった

うちの親父  
クツソ厳しいからなあ…

柔道の師範やってて





...あつ  
♥

でも  
めんどくせえし...

カチャ

カチャ









舌で舐めて汚れ  
取ってくれりやあさ

とりあえず  
セックスの匂いは  
消えるだろ♡

唾液つてほぼ水で  
洗浄効果あるっていうし♡

ドワンッ ドワンッ





風呂入んの  
めんどくせえからさ

陽菜子の唾液で  
綺麗にしてくれ♡

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!



なあ頼むぜ

このままじゃ俺  
怒られちゃうからよ

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

・・・どうしようもない  
要求だった。

ダメダメ……ッ!!

そんなの  
応えないで……ッ!!

丸一日セックスして  
色んな性汁で汚れた体を

シャワーがめんどくさいからって  
舌で舐めて綺麗にしてほしい  
なんて……

ドワンッ ドワンッ



陽菜子ちゃんに  
甘えてる。

そんな甘えに  
応えてほしくなくて

ダメ……ッ!!

届かないと知りながら  
思わず叫ぶ。

ドワッ ドワッ



剛田くんの甘えに  
陽菜子ちゃんは……

ドワーン ドワーン









な、なんで……ッ!!

どうして……ッ!!

剛田くんの  
どうしようもない甘えに……

呆れながらも  
どこか献身的に応じてしまう。

ドワンッ ドワンッ

ハッハッ





こりや極楽だわ♡

陽菜子の柔らかくて  
にゆるにゆるの舌  
きもちい♡

ドワンッ ドワンッ

僕の彼女なのに  
他の強いオスに献身する  
その様子に・・・

胸がざわつき  
掻きまわられた。

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

ドワッ ドワッ





……はいはい

ハッ♡  
ハッ♡

特にチンコ♡♡

今一番汚れてるから♡

ふう♡  
最高♡♡

上終わったら  
下も頼むな♡♡



そう言うとき陽菜子ちゃんは  
一通り上半身の汚れを  
舐めとった後で

剛田くんのお尻に  
顔を埋めて……

ドワンッ ドワンッ



再び剛田くんの甘えに  
応えていく。

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

ドワンッ ドワンッ







最高  
♡

優しい舌ペロが  
疲れたチンコに効く  
♡

悦に浸る剛田くんの声に  
嫉妬で胸がざわつく。

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

色んな感情で  
ぐちゃぐちゃになって  
心が苦しい。

ドワッ ドワッ



しかしそうして  
甘えに応えていく最中

陽菜子ちゃんが不意に……











：私の中で女が  
強くなってるなって  
感じてて

……欲求不満で





だからきつと  
エッチしたら...

...前よりもっと  
惹かれちゃうだろうなあって  
思ってたけど

ハッ♡

ハッ♡



…やっぱり今

そう なっっちゃってるなあ って  
思っ て

ハッ♡

ハッ♡





やっぱ陽菜子も  
メスだよなあ♡♡

♡♡

♡♡

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!



…どこか諦めたように

淡々とそう言った  
陽菜子ちゃん。

ドワッ ドワッ



意味深な言い方に  
疑心暗鬼に駆られる。

つまり  
そんなご奉仕してるのは……ッ!!

もつと  
惹かれちゃったからなの……ッ!?





強いオスに  
本能で惹かれて……ッ!!

甘えに応えたく  
なっちゃったって  
こと……ッ!?

ドワンッ ドワンッ



心臓が破れそうなくらい  
激しく鼓動する。

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!

恐怖で滲んだ脂汗が  
シャツをぐっしりと濡らした。

ドワッ ドワッ





…しかし

ビデオ通話はまだ  
終わらない。

ドワンッ ドワンッ





……  
ねえ

なんか硬くなって  
きたんだけど……

ツ  
……  
!!

でへへっ♡♡

そりや嬉しいこと  
聞いちまったからなあ♡♡

また交尾したく  
なっちまったよ♡♡

.....

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!





最後にもう一回  
交尾しよう♡♡

尻こっちに  
向けてくれ♡♡

…また汚れちゃうじゃん



いいからいいから♡♡

というか陽菜子も  
掃除してるうちに  
やりたくなっただんじゃ  
ねえ？♡♡

.....





陽菜子ちゃんは再び  
諦めたようにそう言つと

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

剛田くんは  
大事な場所を……

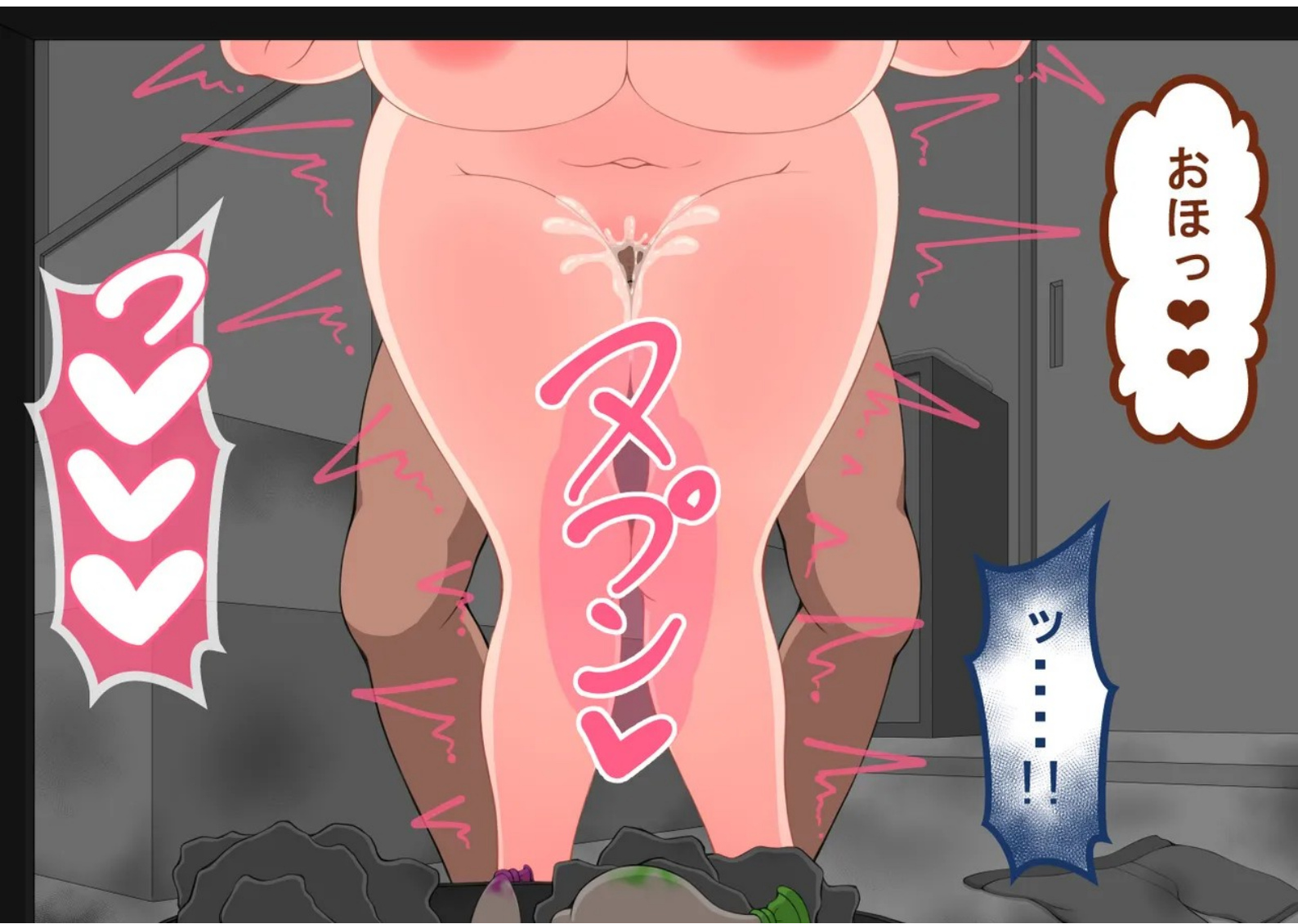
赤ちゃんを作る場所を  
そつと差し出していく。

ドワッ ドワッ





そして...





あゝ♡  
きもちいゝ♡

やっぱたまんねえよ  
陽菜子のまんこ♡♡



しかも中  
ヌルヌルだし♡♡

陽菜子も  
やりたかったんじゃ  
ねえか♡♡

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!



ほらいくぞっ♡♡

おっ



あゝ♡  
やばっ♡♡

数えきれないくらい  
ハマてるけど  
全然飽きない♡♡

種穴すっご♡♡♡

おまゝ♡  
おまゝ♡





フウ……ッ!!

フウ……ッ!!

剛田くんが  
陽菜子ちゃんの腰をつかみ

その交尾穴で  
太いオチンポをシゴいていく。



そして陽菜子ちゃんは  
僕の時とは比べ物にならないほど……



ディルドを使った時でさえ  
比べ物にならないほど  
喘いでいて……

…改めて見せつけられる。

すげーッ♡

おくッ♡

奥凄いッ♡

奥ヤバイッ♡

これが本当にメスとして  
満たされている時の  
陽菜子ちゃん。

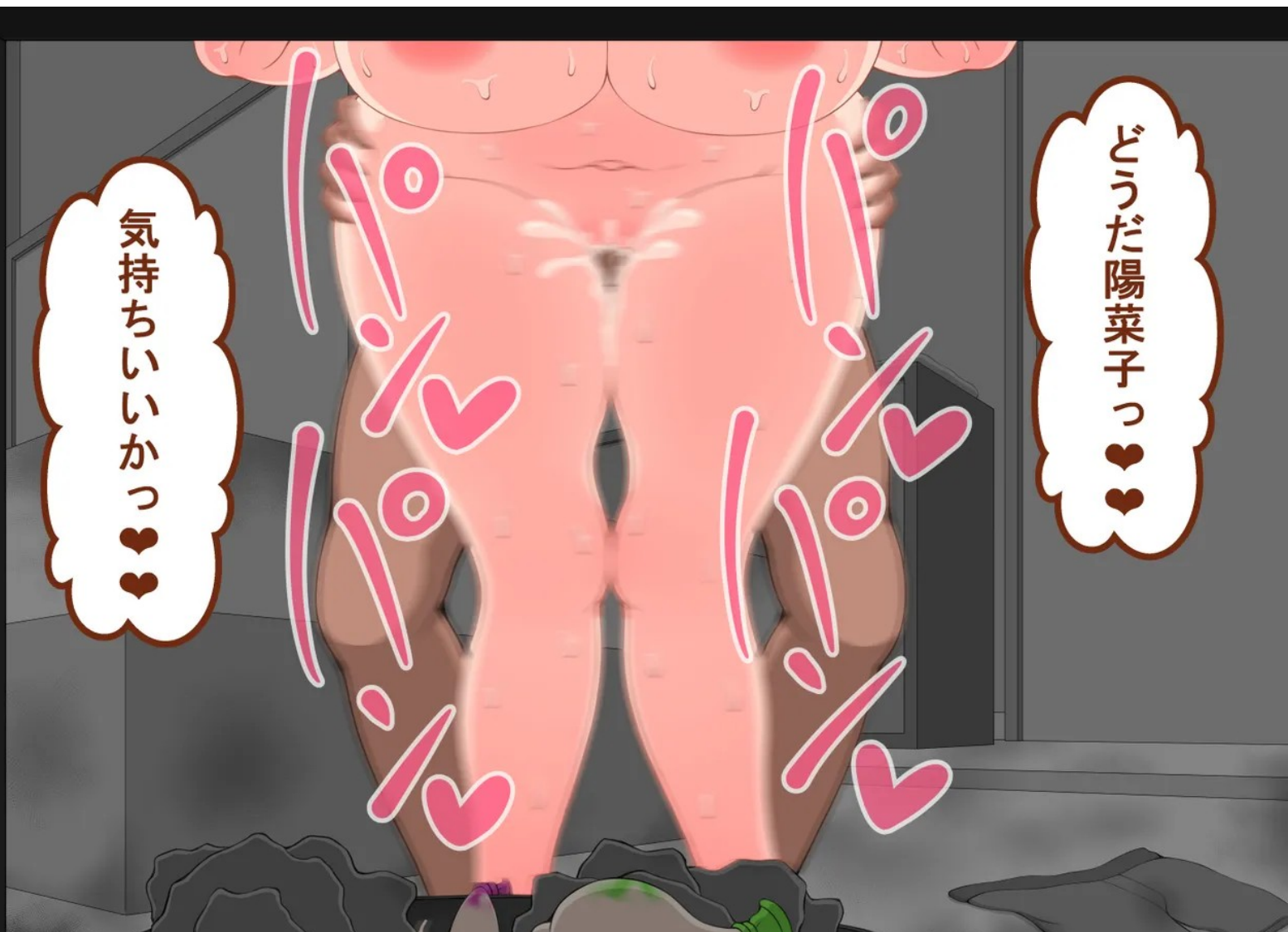


強いオスに交尾されてる時の  
陽菜子ちゃん……



どうだ陽菜子っ♡♡

気持ちいいかっ♡♡





頭おかしくなるッ  
♡♡

きもちいいッ♡

奥凄いのッ♡

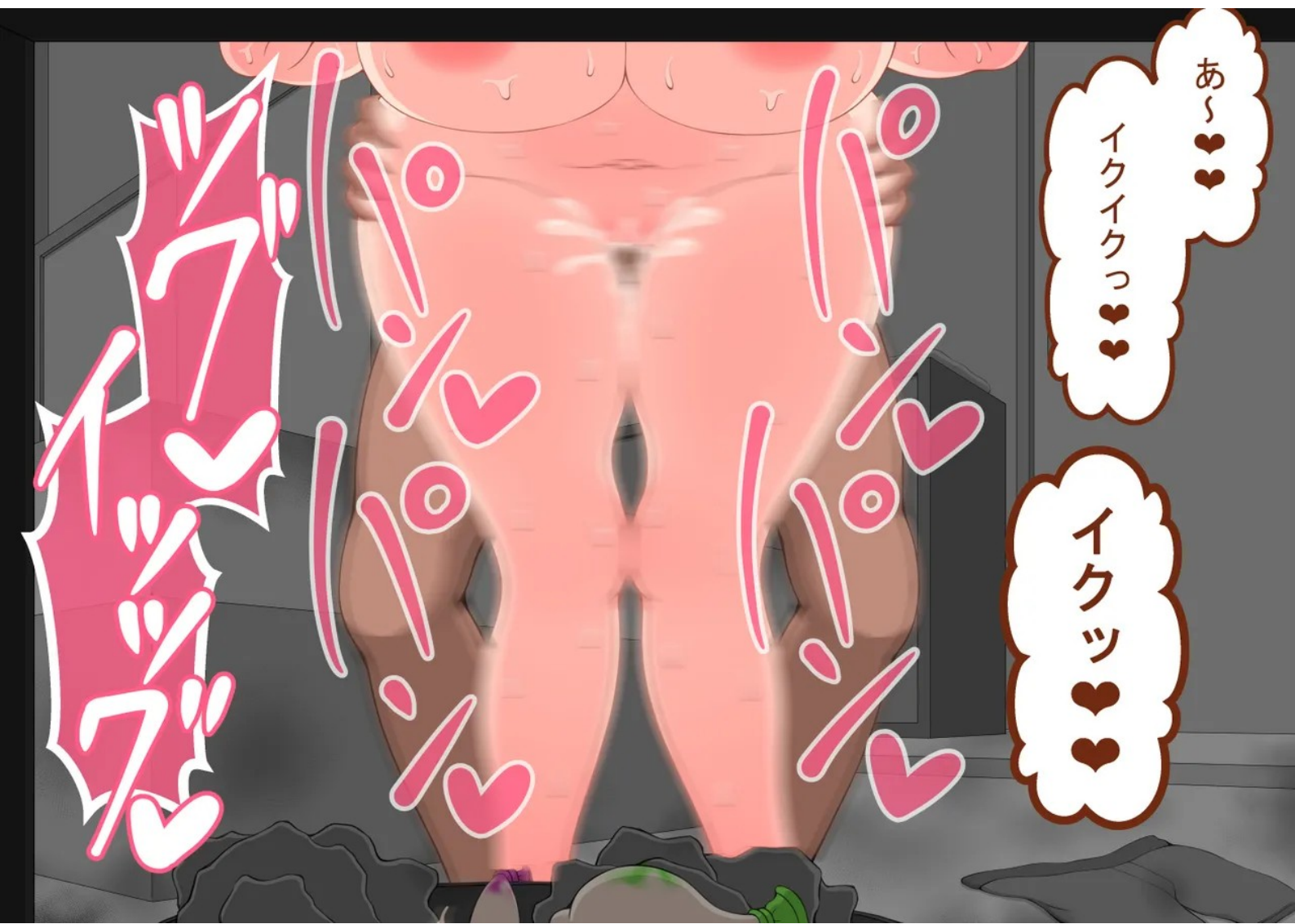


でへへっ♡♡

そろそろイクぞ♡♡

生ちんこで  
ドバドバ種付け  
すっからなあ♡♡

ッ  
...  
!!









ビュルッ♡ビュルッ♡

プュ♡プュ♡

あ♡♡♡♡

ふいっ♡ふいっ♡

ハア...ッ!!

ハア...ッ!!



あゝ♡♡

でるでるっ♡♡

ぶっっ♡♡

あゝあゝ

ピュルピュル

ピュ♡

ピュ♡

…当たり前のように

まるでおしっこするような  
テンションで中出しする剛田くん。

ビュルビュル

ビュルビュル

ハア…ッ!!

ハア…ッ!!

そして出されるがまま  
精子を受け止める陽菜子ちゃん。



気持ち  
よかった〜…♡♡

陽菜子の交尾穴は  
極上だぜ…♡♡

ああ…ッ!!

ああ…ッ!!

はあ♡

はあ♡



…胸が掻き毟られる。

中出しはもう  
前回の寝取らせの時から  
されてしまっているけど…

フウ…ッ!!

フウ…ッ!!

何の抵抗もなく受け入れる姿は  
とても苦しかった。

ドワンッ ドワンッ

ふう〜…♡♡

流石にもう  
打ち止めか♡♡

精子も薄い気が  
するぜ…♡

ふう…♡

ふう…♡





どうだ？

陽菜子♡♡

今日の交尾  
満足できたか？♡





オチンポを入れながら  
満足げに問いかける剛田くん。

それに対して  
陽菜子ちゃんは……













：：陽菜子ちゃんが  
腰を揺らす。

まるで膣内の  
オチンポに媚びるように…

コサ

コサ

コサ

コサ

交尾をおねだりするように…

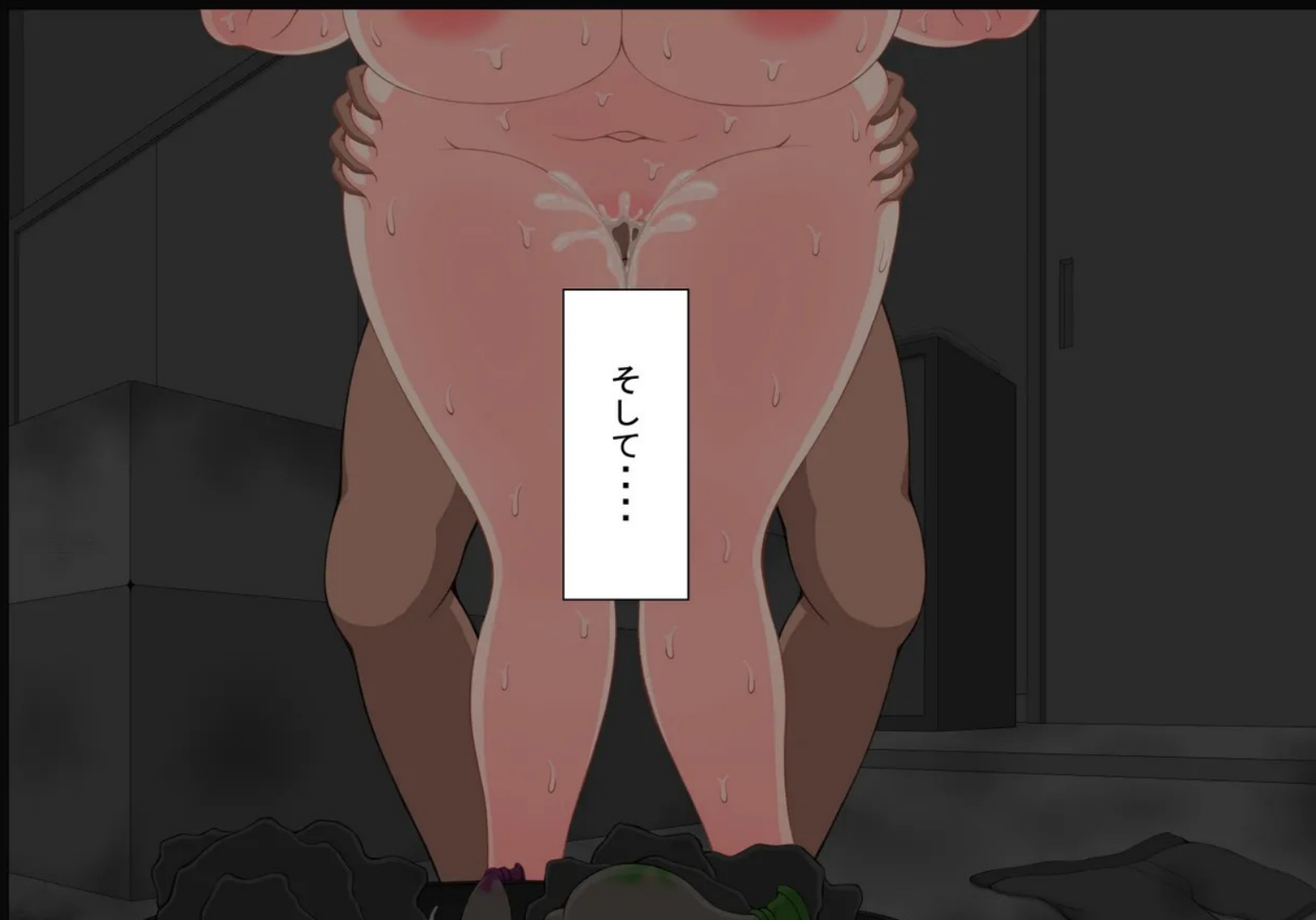
コサレ

コサレ

フウ…ッ!!

フウ…ッ!!





そして……







満足するまで  
交尾しまくってやる♡♡

ツ  
ッ  
ッ  
ッ  
!!







ああ……ッ!!

ああああ……ッ!!

おッ



…自分から

腰を振って  
おねだりして









…それは

今までのような  
僕のためのセックス  
ではなくて…

あああ……ッ!!

ああ……ッ!!

サザサザ

おまおま  
おまおま



陽菜子ちゃんが  
自分自身のために







自分から求めている  
セックスだった。







フッピン

< 剛田くん



音声通話

タイロン

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!



Aa



< 剛田くん



音声通話

あああ……ッ!!

あああ……ッ!!



Aa







…それから

結局陽菜ちゃんが  
帰ってきたのは

午前0時を……

過ぎてからだった。







カッ  
チャ







……ただいま

ハア……ッ!!

ハア……ッ!!



陽菜子ちゃんの姿に  
一瞬安堵が滲む。

……しかしすぐに  
そのぎこちない笑みに  
胸を締め付けられた。

ドクンッ ドクンッ

……ごめんね

遅くなっちゃって……

ドクンッ ドクンッ





ほんとはもうちよつと  
早く帰るつもりだったんだけど……

……色々あって……

ハア……ツ!!

ハア……ツ!!





……えっと

したことは  
話さない約束だから……

何も  
言えないんだけど……

ドクンッ ドクンッ

陽菜子ちゃんは  
そこで言葉を区切ると

息を吞むように  
一呼吸置いて

こう続けた。

ドクンッ ドクンッ



……一つだけ

話しておきたいことが  
あって……

ッ  
……  
!!

ドクンッ ドクンッ





ドワッ ドワッ

もしまた…

私が欲求不満の時に  
寝取らせをやるとしたら…

ドクンッ ドクンッ





……次はね

もっと  
惹かれちゃうかも……

ッ  
……  
!!



……それでも  
雄一への気持ちは

絶対に、絶対に  
変わらないけど……

……どうしても本能では  
強く惹かれちゃって……

フウ……ッ!!

フウ……ッ!!





…だから

もしまた寝取らせるなら…

ハア…ツ!!

ハア…ツ!!





雄  
一

…それだけ  
知っておいてね





END